

令和3年度

事業報告書

社会福祉法人

佐倉市社会福祉協議会

目 次

総括	1
1 社会福祉事業	
（1）法人運営	
1 組織の運営	3
2 組織体制基盤の強化	7
3 福祉功労者表彰	9
4 会員募集	1 1
5 災害時対応	1 2
6 就労準備等出かける場づくり事業	1 2
（2）地域福祉ネットワーク	
1 佐倉市地域福祉活動計画の推進・策定	1 3
2 地区社会福祉協議会活動の推進	1 6
3 地域福祉コーディネーターの設置	1 9
4 地域包括支援センターとの連携	2 2
5 団体活動支援・連携	2 3
6 さくらあったか食堂ネットワーク	2 7
（3）ボランティアセンター	
1 ボランティア活動の普及・推進	3 1
2 佐倉市ボランティア連絡協議会の活動支援	3 6
3 福祉教育推進事業	3 7
（4）企画広報	
1 広報啓発事業	3 8
（5）善意銀行	
1 金銭、物品の預託、払い出し	3 9
2 小口貸付事業	3 9
3 フードドライブへの協力	3 9
（6）在宅福祉	
1 ふれあい・いきいきサロン事業	4 0
2 ふれあい型食事サービス事業	4 0
3 おもちゃ図書館	4 0
4 車イス貸出事業	4 1
5 菊地久治奨学福祉事業	4 2
6 法人後見事業	4 4
7 移動サービス事業	4 6
8 生活困窮世帯子ども支援事業	4 8
9 終末ケア・終活支援事業	4 8

(7) 福祉総合相談事業	4 9
(8) 受託事業	
1 声の広報等発行事業	5 1
2 障害について学ぶ市民講座	5 1
3 生活福祉資金貸付事業	5 2
4 日常生活自立支援事業	5 3
5 成年後見支援センター	5 6
6 生活困窮者自立支援事業	5 8
7 介護人材確保対策事業	6 5
(9) 基 金	
1 福祉基金	6 8
2 菊地久治勉学奨励基金	6 8
3 元気に育て子ども基金	6 8
4 稲垣成こ勉学奨励基金	6 8
5 福得孝養基金	6 8
(10) 共同募金配分事業	
1 歳末たすけあい運動	6 9
2 児童福祉事業	7 0
(11) 共同募金事業への協力	7 1
(12) 居宅介護	
1 障害福祉サービス事業	7 2
2 訪問介護員派遣事業	7 2
3 相談支援事業	7 3
(13) 介護保険	
1 訪問介護事業	7 4
2 居宅介護支援事業	7 6
2 公益事業	
(1) 指定管理事業	
1 西部地域福祉センターの管理運営	7 8
3 収益事業	
(1) 手数料の収入	8 2
○ 役員・評議員名簿	8 3

令和3年度事業報告（総括）

令和3年度は、長引くコロナ禍により前年度に引き続き地域福祉活動の停滞が続きました。あらゆる生活環境の中でコロナ対応や With コロナへの変化を求められ、人が集まりふれあえる機会が制限されました。しかし、地区社協活動やボランティア活動の場面ではそうした思うに任せない状況の中で、必ずしも活動の休止だけではなく、形を変え、新たな手法を取り入れながら地域福祉の灯火を絶やさぬよう福祉委員の方々やボランティアの皆さんが考え続け、活動し続けてくださったことに心から感謝申し上げます。

本会は、地域福祉活動や本会が取り組む生活支援の場からコロナ感染を出さないことを方針とし、基本的な対策の徹底で感染防止に取り組んで参りました。その上で「ともに歩むふくしプラン4」をスタートさせ、「地域福祉コーディネーターモデル設置事業」を中心に、地域づくりから個別支援まで様々な事業の実施を通じて「地域に暮らす誰もが幸せや満足感を感じ、どの市民の課題や困難も見逃さず、誰一人取り残さないまち」を築いていく取り組みを実践して参りました。

地域福祉コーディネーターを配置して活動を展開する中で痛感したことは、「社会福祉協議会」の存在や役割がまだまだ多くの市民の方々に知られていないことでした。私たちは何をする存在でどのような価値を持ち、何のために誰のために働くのか、改めて私たち自身に問い直し、進むべき方向を見定めるために「ブランド構築プロジェクト」を立ち上げました。佐倉デザイン企画会の協力のもとで本会の認知度を上げ、活動への理解を高めるために職員自身が様々な角度から学び、話し合い、本会の目指すビジョン（未来像）として「**ありがとうが行き来するまち**」を掲げ、その実現のためのミッション（使命）として「**誰もが自分の居場所があるまちをつくるために、地域の声と地域の力をつなぎます。**」という言葉をつくり出しました。このミッション（使命）は、例えコロナ禍であっても、生活様式が大きく変化しようとも、私たち社会福祉協議会の普遍の役目です。私たちが描いた未来像に向けて、この二年間の経験を糧にこれからも地域づくりに邁進して参ります。

【重点実施事項】

1. **ともに歩むふくしプラン4（第6次佐倉市地域福祉活動計画）推進と「地域福祉コーディネーター」の試行設置を通じて、“地域の課題を 地域で解決できる地域づくり”を実現します。**

「ともに歩むふくしプラン4（以下、プラン4）」推進初年度は、コロナ禍により進捗がやや鈍くなりました。そうした中で、圏域ネットワーク会議では開催見送りの代わりにアンケートによる地域ニーズの把握に努め、今後の検討課題の洗い出しに努めました。また、プラン4のダイジェスト版を社協さくら第203号に併せて発行するなどの周知も行いました。

地域福祉コーディネーターの設置では、志津南部圏域（志津南地区社協・西志津地区社協エリア）をモデル圏域に「地域支援」「個別支援」「課題の共有と参加支援」の各活動に着手し、とくに初年度は存在を「知ってもらう」ことに重点を置いて取り組みました。また、佐倉市との共催により実施した「地域福祉フォーラム」では地域福祉コーディネーターをテーマに、国際医療福祉大学の小林雅彦教授や先進地の東京都調布市社協を招いて意見交換を行い、映像をYouTubeで公開しました。プラン4の推進はゆっくりではありますが、地域の課題を地域で解決のできる地域づくりに向けて着実に一步を踏み出せた一年でした。

2. コロナ禍にあっても支えあい、気かけあい、つながり続けるために地域での見守り支援など、新しい地域福祉活動・社協活動を開発し、実践します。

多くの地域活動が自粛を余儀なくされる中で、ボランティアグループが取り組む「ふれあい型食事サービス」では、手作り弁当を届けたり、それも困難な時は電話や手紙による安否確認などの緩やかな見守り活動に取り組みました。他にも地区社協活動やボランティア活動でつながりを絶やさない創意工夫した取り組みが随所に見られました。

また、善意銀行では食品の預託・払出件数がともに過去最高となりました。コロナ禍により食料を必要とする世帯への支援の急増や併せて、そうした状況を知った市民や企業、各種団体からの寄附が増加し、同じ地域内の様々な立場で支えあう意識の醸成とともに、食品ロスを防ぐ社会的な取り組みとも連動する大きな成果となりました。さらにボランティアによる「子ども食堂」や「学習支援」の活動が盛んに行われ、実施団体間の連携をはかるべく本会が連絡調整役を担い、子どもの困窮を支援する取り組みにも注力して参りました。

3. 法人後見事業のさらなる充実や、市民後見人、NPO 法人との連携強化を通じて成年後見制度の利用を促進します。

本会の成年後見制度に関する取り組みは成長を続けており、本会独自の法人後見受任の推進と併せて、市民後見人養成講座修了者を中心に組織された「NPO 法人佐倉市民後見人協会（以下、協会）」による法人後見受任の実現のための取り組みを進めて参りました。現在協会では後見類型のケースを2件受任しており、本会が後見監督人として選任を受けて協会をサポートする体制を整えました。毎月行う協会からの後見業務報告では、監督人として適宜必要な指導・助言に努めました。本会、協会に加えて本会と複数受任をしている市民後見人との三者により、佐倉市の成年後見制度の利用を促進するための新しい局面を開くことが出来ました。

以下、本年度の各事業の概要を報告します。

1 社会福祉事業

(1) 法人運営

1 組織の運営

- ・市町村社会福祉協議会の法的根拠と社会福祉事業について

市町村社会福祉協議会は、社会福祉法第109条(昭和26年3月29日法律第45号)に規定された社会福祉法人です。この法律は、社会福祉を目的とする事業の全分野における共通的基本事項を定め、社会福祉を目的とする他の法律と相まって、福祉サービスの利用者の利益の保護及び地域における社会福祉(「地域福祉」という。)の推進を図るとともに、社会福祉事業の公明かつ適正な実施の確保及び社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図り、もって社会福祉の増進に資することを目的としたものです(法第1条)。

- ・市町村社会福祉協議会の事業(法第109条抜粋)

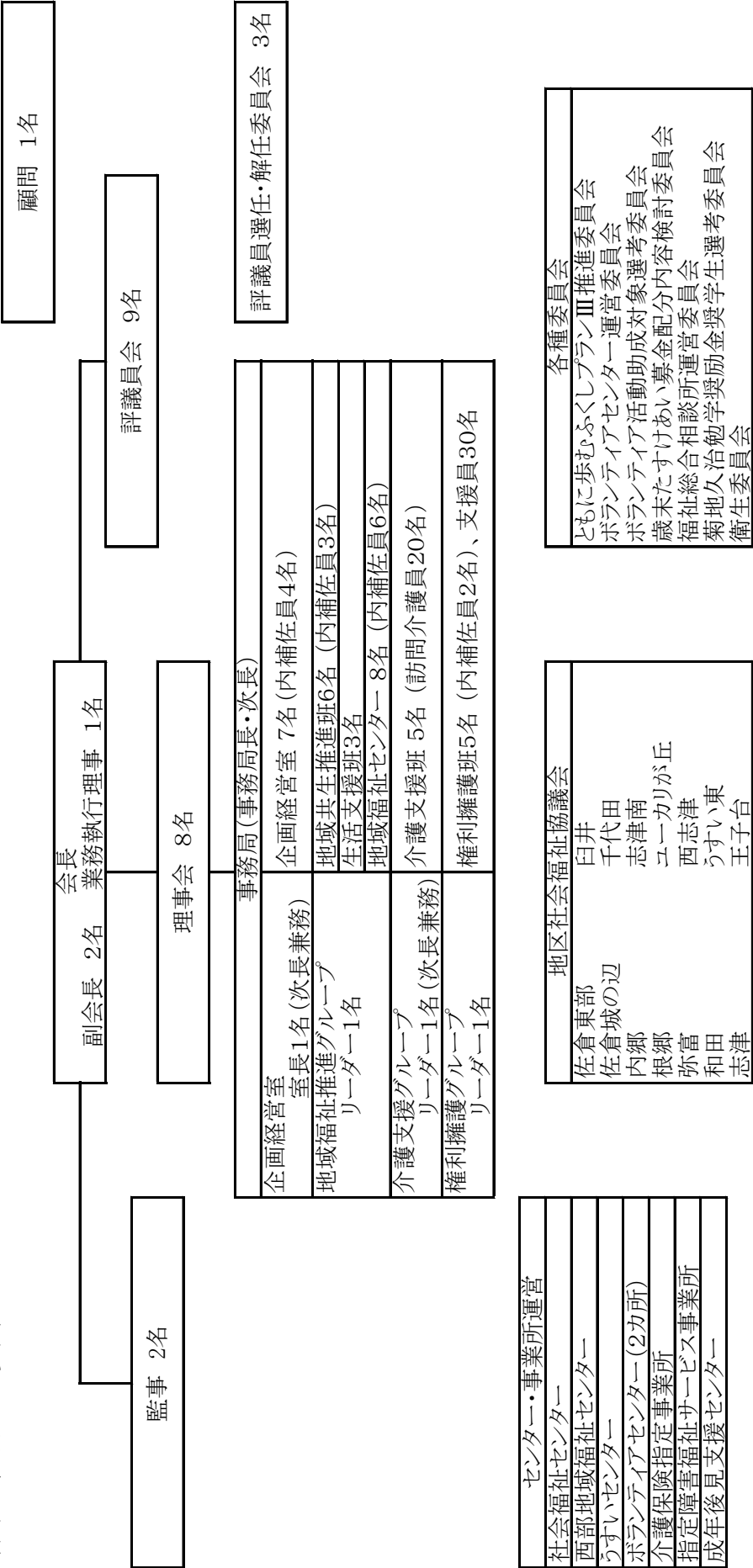
- ①社会福祉を目的とする事業の企画及び実施
- ②社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助
- ③社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成
- ④前3号に掲げる事業のほか、社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業



佐倉市社会福祉協議会マスコットキャラクター

“ふうりっぷ”

・社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会の組織
(令和4年3月31日現在)



福祉委員会
福祉委員(1,281名)

(ア)理事会の開催

回 数	開 催 日 時	会 場	出席者	上 程 議 案
第1回	5月27日(木) 午後1時30分～	Zoomによる リモート参加 と会場参集 の併用会議 (2階会議 室)	理事8名 監事2名	・令和2年度事業報告の承認 ・令和2年度資金収支決算の承認 ・任期満了に伴う次期評議員選任候補者の推薦 ・評議員選任・解任委員会の招集 ・任期満了に伴う次期理事選任候補者の推薦 ・任期満了に伴う次期監事選任候補者の推薦 ・定時評議員会の招集
第2回	6月18日(金) 午後1時30分～	地下研修室	理事8名 監事2名	・会長の選任 ・副会長の選任 ・業務執行理事の選任 ・評議員選任・解任委員会委員の選任 ・顧問の委嘱 ・福得孝養基金運用規程の制定
第3回	11月12日(金) 午後1時30分～	2階会議室	理事8名 監事2名	・令和3年度被表彰者の選定 ・経理規程の一部改正
第4回	書面同意		8名同意	・管理職職員の任免
第5回	3月11日(金) 午後2時～	Zoomによる リモート参加 と会場参集 の併用会議 (2階会議 室)	理事7名 監事2名	・令和4年度事業計画の承認 ・令和4年度予算の承認 ・令和3年度補正予算の承認 ・事務局規程の一部改正 ・給与規程の一部改正 ・令和4年度役員等賠償責任保険の契約 ・契約の締結 ・評議員会の招集

(イ)評議員会の開催

回 数	開 催 日 時	会 場	出席者	上 程 議 案
第1回 (定時)	6月18日(金) 午前10時	地下研修室	8名	・令和2年度資金収支決算の承認 ・任期満了に伴う理事の選任 ・任期満了に伴う監事の選任 ・令和2年度事業報告
第2回	3月25日(金) 午後1時30分～	Zoomによる リモート参加 と会場参集 の併用会議 (2階会議 室)	8名	・令和4年度事業計画の承認 ・令和4年度資金収支予算の承認 ・令和3年度資金収支補正予算の承認 ・役員及び評議員の報酬等の支給基準の承認

(ウ)監事による監査(定款第22条に基づく)

実 施 日	会 場	内 容
書面監査		令和2年度事業報告、決算

(エ)内部会計監査(経理規程第72条に基づく)

実 施 日	会 場	内 容
7月6日(火)	会長室	令和2年度10月～3月分会計処理状況
10月7日(木)	会長室	令和3年度4月～6月分会計処理状況
12月9日(木)	会長室	令和3年度7月～9月分会計処理状況

(オ)財政援助団体等監査(地方自治法第199条に基づく 所轄庁:佐倉市)

実 施 日	会 場	内 容
9月29日(水)	議会棟	令和2年度、令和3年度の事業計画・予算及び事業報告・決算 定款、役員、職員及び組織関係

2 組織体制基盤の強化

(ア)佐倉市社会福祉協議会ブランド構築プロジェクト

実施内容

本会が活動を行う上で、社協が認知されていない、行政と同じに捉えられるなど様々な課題が顕在化した。また周知すべき社協とは何かを明確にし、職員間、市社協と地区社協、関係機関などと共有する必要がある。こうした課題を解決するため、ブランドの構築プロジェクトを実行して社協ブランドの構築を行い、社協の認知度を上げ、活動への理解度を高めていく機会として取り組んだ。

a ブランド勉強会

実施日	講義	講師	参加職員
11月11日(木)	テーマ「ブランドについて」	佐倉デザイン企画会代表理事 里川基氏	23名

b ブランド構築プロジェクト

第1回	11月23日(火)
第2回	12月19日(日)
第3回	1月9日(日)
第4回	1月10日(月)
第5回	2月26日(土)
第6回	3月13日(日)
第7回	3月27日(日) ※ブランド発表会

ビジョン

「ありがとうが行き来するまち」

ミッション

私たちは、

誰もが自分の居場所があるまちをつくるために、
地域の声と地域の力をつなぎます。

バリュー

「お互いさまの気持ち」

誰もが平等に幸せに生きられる社会の実現のために、お互いを気にかけて、助け合い、声を掛け合うことができるよう「お互いさまの気持ち」を忘れずに活動します。

「受け入れること」

国籍、年代、性別、財産、知力、仕事、容姿、障がいの有無などに関わらず、誰をも否定することなく、個を尊重し、その人らしさを大切にします。

「主体的であること」

誰もが居場所や生きがいを自ら発見できるように 私たちはサポートに徹します。私たちが待ちの姿勢ではなく、人とまちに興味を持ってアンテナを張り、足を運びます。

「生きがいを持つこと」

誰もが居場所を持てるように、誰かの役に立ちたいという想いを尊重し、その人の力が発揮できるようにサポートします。そして私たちも生きがいをもちます。

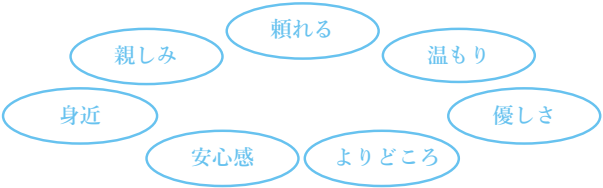
ブランド・プロミス

- ・私たちは、年齢・国籍・障害の有無などに関わらず、どんな相談も受け入れ、対応します。
- ・私たちは、受けたすべての相談を解決に向けて、適切な機関や人に繋ぎます。
- ・私たちは、秘密をしっかりと守ります。
- ・私たちは、誰もがやりがい・生きがいを有する活動の場や機会を提供します。
- ・私たちは、福祉の専門性を常に高めます。

ブランド・パーソナリティ

心やさしい縁の下での力持ち。

いつもそばにいて、なくてはならない、小さいけど大きな存在。



(イ) 衛生委員会

実 施 日	会 場	出 席 者	内 容
7月8日(木)	会長室	3名	・コロナウイルスワクチンの接種状況について ・職員定期健康診断について ・職員執務場所等の状況確認について ・職員健康相談、面接の実施について
2月10日(木)	会長室	3名	・令和3年度職場巡視の総括について ・職員の健康管理について ①健康診断の総括について ②ストレスチェック実施結果について ・新型コロナウイルス職域接種について ・次年度の衛生業務計画について

(ウ) 産業医衛生業務

実 施 日	業 務 内 容
4月8日(木)	令和3年度業務打ち合わせ、社会福祉センター執務場所等の状況確認
5月13日(木)	西部地域福祉センター執務場所等の状況確認、職員健康相談、面接
6月10日(木)	職員健康相談、面接(事務局)
8月19日(木)	職員健康相談、面接(事務局)
9月9日(木)	職員健康相談、面接(西部地域福祉センター)
10月14日(木)	職員健康相談、面接(事務局)
11月11日(木)	職員健康相談、面接(事務局)
12月9日(木)	職員健康相談、面接(管理職面接)
1月13日(木)	職員健康相談、面接(管理職面接)
3月10日(木)	職員健康相談、面接(事務局)

3 福祉功労者表彰

(ア) 福祉功労者表彰

日 時	コロナウィルス感染拡大の状況を鑑み福祉功労者表彰式は中止
会 場	
被表彰者	155個人・団体
内 容	社会福祉の発展に功労のあった方々を表彰するとともに、これからの地域福祉のあり方や本会が果たすべき役割の整理と活動の強化につなげることを目的として実施した。

a 特別功労賞(会長表彰後10年以上)《12名》

秋山辰彦、糸井文子、伊藤澄子、河内文彦、川口弘子、北川信人、清見啓子、白鳥文子、土田祥子、並木信也、長谷川大美、宮坂明雄

(敬称略)

b 会長表彰

・役員・評議員・委員(8年以上)《88名》

浅川武彦、荒悟、飯島礼子、飯高萬里子、石井一隆、伊藤いく子、伊藤哲男、猪野美智子、岩崎久美子、磐崎武仁、梅村鉄也、榎沢ゆり子、海老沢礼子、圓城寺卓也、及川順夫、大久保真、大久保洋子、太田博子、大野明子、大和田和男、尾澤キミ江、尾島克彦、尾瀬秀子、加藤悦三、門澤秀子、門山光治、川原忠郎、神田水保子、菊池峰弘、栗山将人、後藤良子、斎藤明美、齊藤幸子、櫻井裕樹、佐々木とく子、佐藤光代、柴田順子、清水和明、鈴木滋、鈴木稔、高中聡、高橋京子、高美修次、瀧本哲資、竹田恵美子、但馬祥生、立田のぶ、田中民枝、谷口千恵、土屋寛、中川和子、永田千草、中野貞己、中村一孝、中村義夫、滑川忠一、二本柳吉美、野口幸雄、橋本由美子、羽根井誠、原田和子、日向洋子、深瀧珠子、福田郁恵、藤崎和生、藤崎賢二、堀秀行、松戸玉子、松戸豊子、松戸玲子、松村尚幸、松山洋子、三須正、三須俊雄、水谷典子、水本寛紀、深山和明、三代川進、村井千鶴子、村井不二夫、森田よし子、安田章夫、山田勇、山根安子、山本博子、吉竹賢一、吉原和裕、渡邊誠治

(敬称略)

c 会長感謝状

(a) 多額寄付者

〔個 人〕(3万円以上)《12名》

井野口綾子、鎌田和明、上出涼子、酒井久男、佐藤賀英、立石光夫、寺村和晃、中村ふみ子、波多野稔夫、早坂光恵、山本喜代光、盧俊雄

(敬称略)

〔団 体〕(10万円以上)《13団体》

佐倉商工会議所、佐倉商工会議所女性会、佐倉ライオンズクラブ、株式会社千葉銀行佐倉支店、千葉みらい農業協同組合、株式会社ディーシーエム、東日本旅客鉄道株式会社佐倉運輸区、日立物流まごころ基金(株式会社日立物流)、日立物流まごころ基金(株式会社日立物流首都圏)、株式会社ホソヤコーポレーション、明治安田生命保険相互会社佐倉南営業所、山万グループ※、LAPIS Japan 合同会社
※山万グループは6社連名 ※山万(株)、ワイエム総合サービス(株) 山万ウィシユトンホテル(株) 光陽(株) (株)ユーカリファーム (福)ユーカリ優都会

(敬称略)

(b) 福祉活動功績者

〔個 人〕《5名》

斎藤明美、高橋英夫、竹中速雄、多田昌次、鱸居優子

(敬称略)

〔団 体〕《6団体》

さくら輪の会、届けよう笑顔を！「ニコニコ合衆国」23、長いすの会、ハーモニーの会、ほっと・すぺーす・わかば、ユートピア時崎弁天

(敬称略)

(c) 特別会員

〔個人〕(10年以上)《5名》

石垣喜四郎、兼坂誠、田仲知代、峰村愛子、安本秀明

(敬称略)

〔個人〕(20年以上)《1名》

櫻井正明

(敬称略)

〔個人〕(40年以上)《1名》

佐野潤一郎

(敬称略)

〔個人〕(50年以上)《1名》

佐藤正之助

(敬称略)

〔団体〕(10年以上)《7団体》

有限会社印旛防疫社、株式会社オールセレモニー、佐倉市よもぎの園 指定管理者社会福祉法人愛光、公益社団法人佐倉青年会議所、北総防災株式会社、特定非営利活動法人みのり福祉会、妙隆寺

(敬称略)

〔団体〕(20年以上)《1団体》

株式会社島田

(敬称略)

〔団体〕(30年以上)《3団体》

株式会社木村屋、佐倉商工会議所、株式会社ナカムラ

(敬称略)

(イ) 千葉県社会福祉大会

日 時	千葉県社会福祉大会(中止)
会 場	
主 催	千葉県 社会福祉法人千葉県社会福祉協議会 社会福祉法人千葉県共同募金会

a 千葉県社会福祉協議会会長表彰

○民生委員・児童委員功労者《2名》

加藤順一、福田克枝

(敬称略)

○社会福祉施設・団体関係役職員功労者《14名》

青木こう、阿部美樹子、飯田浩司、粕谷恵美子、木嶋雅章、近藤真一、鈴木みつえ、関谷景子、高橋健、中川光男、原宏之、宮部和樹、宮本典昭、渡邊澄江

(敬称略)

b 千葉県共同募金会会長表彰

○共同募金奉仕功労者 表彰《5名》

伊藤泰彦、新谷俊文、新美謙二、福田克枝、宮内ひろ子

(敬称略)

c 共同募金優良地区・団体《4団体》

畔田区、生谷東観団地自治会、米戸区、みどり野自治会

(敬称略)

4 会員募集

実施内容

会員制度は、組織の根幹をなすものであり、会員が納入する会費は社協活動の貴重な自主財源である。緊急事態宣言の影響もあり説明会を開催することができなかったが、各自治会へ資料を送付した。問い合わせには詳しい説明をして理解を求めた。

(ア) 会員数および会費収入金額

会員区分	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般会費	35,019世帯	37,132世帯	37,697世帯
	17,509,803円	18,566,119円	18,848,418円
賛助会費	71人	55人	62人
	83,000円	56,000円	62,000円
特別会費（個人）	110人	114人	144人
	272,000円	272,000円	362,000円
特別会費（団体）	92団体	96団体	98団体
	930,000円	970,000円	1,030,000円
合計	35,292組	37,397組	38,001組
	18,794,803円	19,864,119円	20,302,418円

(イ) 自治会・町会・区代表者への社協説明会

期 日	地 区	会 場
	佐倉・内郷地区	中止
	根郷・和田・弥富地区	中止
	志津地区	中止
	臼井・千代田地区	中止
4月17日（土）10:00～11:00	新任地区代表者（希望者）	中央公民館ホール
4月17日（土）14:00～15:00	新任地区代表者（希望者）	中央公民館ホール

(ウ) 法人会員募集の強化

法人会員拡大をめざし、各団体への説明、資料送付等を行い会員募集の強化を図った。法人運営の財源基盤の拡充に向けて今後も強化を図っていく。

5 災害時対応

実施内容

令和3年9月に佐倉青年会議所と災害時における支援活動に関する協定書を締結した。また佐倉市災害ボランティアセンターネットワーク会議及び研修会を2年ぶりに実施し、団体同士の情報交換と災害支援に向けて連携構築を行った。

(ア) 佐倉青年会議所佐倉市社会福祉協議会八街市社会福祉協議会酒々井町社会福祉協議会 合同災害協定締結式式典

佐倉市災害ボランティアセンターネットワーク構成団体の「公益社団法人佐倉青年会議所」様と、災害時の支援活動において相互に協力するために協定を締結した。同時に八街市社会福祉協議会と酒々井町社会福祉協議会も佐倉青年会議所様と協定を締結した。

開催日時	令和3年9月12日(日)14時～15時30分
------	------------------------

会場	佐倉市民音楽ホール
----	-----------

(イ) 災害ボランティアセンターネットワーク会議及び研修会

開催日時	令和4年3月18日(金)10時から11時30分
------	-------------------------

開催方法	Zoomによるリモート形式
------	---------------

テーマ	災害時の三者連携について ～令和元年の台風15号19号の支援活動の様子から～
-----	--

講師	災害支援ネットワークちば(CVOAD)代表 加納 基成 様
----	-------------------------------

参加	12名
----	-----

6 就労準備等出かける場づくり事業

実施内容

本会がひきこもりの方等支援の一環として、令和3年9月1日より外出する居場所作りに取り組み、佐倉市が実施する「佐倉市生活困窮者自立支援事業」における「就労準備、ひきこもりの外出支援」等で活用し、生活困窮世帯の自立に取り組んだ。参加された方には洗車、PC作業、切手のカット作業などを行っていただき、自立に向けた活動につなげることができた。

(ア) 利用状況

利用回数	42件
------	-----

(2) 地域福祉ネットワーク

1 佐倉市地域福祉活動計画の推進・策定

(ア) 市・社協事務局連絡会議

回数	開催日	会 場	内 容
1	4月21日(水)	2階会議室	①今年度の事務局連絡会議について ②地域福祉フォーラムについて ③両計画の状況について
2	5月19日(水)	2階会議室	①地域福祉フォーラムについて ②両計画の状況について
3	6月16日(水)	2階会議室	①地域福祉フォーラムについて ②両計画の状況について
4	7月20日(火)	2階会議室	①地域福祉フォーラムについて ②両計画の状況について
5	8月18日(水)	2階会議室	①地域福祉フォーラムについて ②両計画の状況について
6	9月7日(火)	2階会議室	地域福祉フォーラムリハーサル
7	10月20日(水)	2階会議室	①地域福祉フォーラムについて ②両計画の状況について
8	11月17日(水)	2階会議室	①地域福祉フォーラムについて ②両計画の状況について
9	12月15日(水)	2階会議室	①地域福祉フォーラムについて ②両計画の状況について
10	1月19日(水)	2階会議室	①地域福祉フォーラムについて ②両計画の状況について
11	2月9日(水)	2階会議室	①地域福祉フォーラムについて ②両計画の状況について
12	3月16日(水)	2階会議室	①地域福祉フォーラムについて ②両計画の状況について

(イ) ともに歩むふくしプラン推進委員会

回数	開催日	会 場	内 容
1	12月10日(金)	3階中会議室	①委嘱状交付 ②委員長、副委員長選出 ③計画の概要説明 ④3カ年の進め方について ⑤地域福祉コーディネーターモデル設置事業について
2	3月23日(水)	Web及び 西部地域福祉 センター	①令和3年度第1回推進委員会報告 ②令和3年度の評価について(市社協、地区社協) ③地域福祉コーディネーターモデル設置事業の状況について ④圏域ネットワーク会議に代わるアンケート結果について ⑤令和4年度の計画推進について

(ウ)プロジェクト会議(メンバー12名)

回数	開催日	会 場	内 容
1	4月14日(水)	会長室	①市社協評価表について ②プロジェクト会議の年間スケジュールについて ③日常圏域ネットワーク会議の持ち方について ④ともに歩むふくしプラン4推進委員会委員の推薦について
2	4月28日(水)	会長室	①市社協評価表について ②日常圏域ネットワーク会議について
3	5月14日(金)	会長室	①令和2年度市社協評価表について ②志津南部・志津北部圏域ネットワーク会議の持ち方について
4	5月28日(金)	会長室	①令和3年度市社協評価表について
5	6月9日(水)	会長室	①令和3年度市社協評価表について ②プロジェクト会議の年間スケジュールについて
6	6月23日(水)	会長室	①プラン冊子、ダイジェスト版を活用した広報展開について
7	7月14日(水)	会長室	①プラン冊子、ダイジェスト版を活用した広報展開について ②圏域ネットワーク会議について
8	7月27日(火)	会長室	①広報展開について ②モデル圏域と各圏域のネットワーク会議について
9	8月11日(水)	会長室	①広報展開について(社協さくら1面の活用について) ②圏域のネットワーク会議について
10	8月25日(水)	会長室	①広報展開について(社協さくら1面の活用について) ②圏域のネットワーク会議について
11	9月8日(水)	会長室	①広報展開について(社協さくら、地域新聞の活用について) ②推進委員会開催時期の変更について ③圏域のネットワーク会議について
12	9月22日(水)	会長室	①広報展開について(社協さくら1面) ②地域福祉フォーラムについて
13	10月13日(水)	会長室	①広報展開について(社協さくら1面) ②第1回ともに歩むふくしプラン4推進委員会について
14	10月27日(水)	会長室	①広報展開について(社協さくら1面) ②日常圏域ネットワーク会議について
15	11月10日(水)	会長室	①日常圏域ネットワーク会議について ②圏域ネットワーク参加者アンケートについて
16	11月24日(水)	会長室	①日常圏域ネットワーク会議について ②第1回ともに歩むふくしプラン4推進委員会について
17	12月8日(水)	会長室	①日常圏域ネットワーク会議について ②第1回ともに歩むふくしプラン4推進委員会について
18	12月22日(水)	会長室	①日常圏域ネットワーク会議について ②第1回ともに歩むふくしプラン4推進委員会について
19	1月12日(水)	会長室	①日常圏域ネットワーク会議について ②令和3年度の評価について

20	2月2日(水)	会長室	①日常圏域ネットワーク会議について ②令和3年度の評価について
21	2月16日(水)	会長室	①令和3年度市社協評価表について ②第2回ともに歩むふくしプラン4推進委員会について
22	3月9日(水)	会長室	①令和3年度市社協・地区社協評価表について ②圏域ネットワーク会議参加者アンケートの集計結果について ③第2回ともに歩むふくしプラン4推進委員会について
23	3月10日(木)	会長室	①令和3年度市社協・地区社協評価表について ②圏域ネットワーク会議参加者アンケートの集計結果について ③第2回ともに歩むふくしプラン4推進委員会について

(エ) 圏域ネットワーク会議

圏域	開催時期	内容
佐倉	2月	新型コロナウイルス感染拡大のため開催見送り。アンケートを実施。
臼井・千代田		
志津北部 志津南部		
南部		

(オ) 地域福祉フォーラム・Web公開

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、無観客での収録を行い、映像をYouTubeで公開した。

収録日	令和3年9月26日(日)
公開期間	令和3年12月15日～令和4年3月15日(3ヶ月間)
内 容	【第1部】佐倉市の第4次佐倉市地域福祉計画と佐倉市社協の「ともに歩むふくしプラン4」(第6次地域福祉活動計画)の状況について説明 【第2部】「地域福祉コーディネーターに期待すること」をテーマに登壇者の意見交換 ○コーディネーター 小林雅彦氏(国際医療福祉大学医療福祉学部学部長) ○佐倉市の考える地域福祉コーディネーター 佐倉市社会福祉課長 大谷誠一 ○佐倉市社会福祉協議会での取り組み 佐倉市社協 志津南部圏域 地域福祉コーディネーター 細谷聡美 ○他自治体での活躍 調布市社協 地域福祉コーディネーター 坂本祐樹氏

2 地区社会福祉協議会活動の推進

実施内容

地区社会福祉協議会の活動の推進を図り、住民参加と協働によるコミュニティ活動の促進を行った。Zoomを使った地区社協会長会議で、コロナ禍での地区社協活動について情報交換し、各地区の活動へ繋げた。

(ア)地区社協会長一覧

NO	地区社協名	氏 名
1	佐倉東部	真部 武美
2	佐倉城の辺	川上 三郎
3	内郷	大谷 吾朗
4	根郷	内藤 寛子
5	弥富	池澤 利一
6	和田	小出 孝二
7	志津	横山 幹雄
8	臼井	八田 進
9	千代田	大蔵 文子
10	志津南	吉森 文男
11	ユーカーが丘	高崎 照夫
12	西志津	伊藤 泰彦
13	うすい東	森田 実
14	王子台	中台 一義

(イ)地区社協会長及び事務局長会議の開催

No.	開 催 日	会 場	内 容
1	4月20日(火)	web会議(参 集会場:2階 会議室)	第1回地区社協会長会議 ・令和3年度市社協事業計画及び事務局体制について ・地区社協活動費について ・令和3年度福祉功績者の推薦について ・地区社協関係書類の提出について ・ともに歩むふくしプラン4の推進について
2	8月10日(火)	web会議(参 集会場:2階 会議室)	第2回地区社協会長会議 ・おじいちゃんおばあちゃんありがとうの気持ちを伝えたい事業について
3	9月15日(水)	web会議(参 集会場:2階 会議室)	第3回地区社協会長会議 ・ともに歩むふくしプラン4の進捗状況について ・地域福祉コーディネーターの活動状況について ・共同募金運動について ・コロナ禍の活動について ・個人情報の取り扱いについて
4	2月22日(火)	web会議(参 集会場:3階 中会議室)	第4回地区社協会長及び事務局長会議 ・令和4年度地区代表福祉委員の推薦依頼について ・ともに歩むふくしプラン4推進及び進捗状況について ・令和3年度活動総括及び令和4年度の抱負について

(ウ) 支えあいサービス実務者の集い(支えあいカフェ)の開催

※コロナウイルス感染予防・拡大防止のため開催を中止した

(エ) 移動支援連絡会の開催

※コロナウイルス感染予防・拡大防止のため開催を中止した

(オ) 地区社協別会議等の開催

No.	地区社協名	福祉委員会	役員会等	住民福祉懇談会		ひとり暮らし高齢者食事サービス		広報発行
				回数	人員	回数	人員	
1	佐倉東部	4回	8回	0回	0人	0回	0人	2回
2	佐倉城の辺	3回	12回	0回	0人	0回	0人	4回
3	内郷	2回	12回	0回	0人	0回	0人	3回
4	根郷	3回	17回	0回	0人	1回	20人	3回
5	弥富	2回	5回	0回	0人	2回	78人	3回
6	和田	3回	7回	0回	0人	1回	11人	2回
7	志津	3回	13回	0回	0人	7回	298人	2回
8	臼井	5回	8回	0回	0人	0回	0人	2回
9	千代田	3回	12回	1回	29人	0回	0人	3回
10	志津南	3回	10回	0回	0人	0回	0人	3回
11	ユーカーが丘	3回	24回	0回	0人	1回	11人	2回
12	西志津	4回	16回	0回	0人	0回	0人	1回
13	うすい東	3回	20回	0回	0人	0回	0人	2回
14	王子台	5回	22回	0回	0人	0回	0人	3回

※コロナウイルス感染予防、拡大防止のため活動を自粛した。また、福祉委員会・理事会については一部書面にて実施した。

(カ)地区社協のおもな活動（※コロナ禍により一部実施を見合わせた事業も含みます）

1.高齢者福祉事業	ア. ひとり暮らし高齢者等を対象とした食事サービス、昼食会の実施
	イ. ひとり暮らし高齢者、ねたきり高齢者、障がい者を対象とした友愛訪問
	ウ. グランドゴルフ大会の開催
2.障がい者・児福祉事業	ア. 社会福祉施設への訪問
	イ. 障がい者・児への援助活動
	ウ. 障がい者・児とその家族との交流
3.児童・青少年福祉事業	ア. 児童・青少年健全育成活動
	イ. 各種スポーツ大会の開催
	ウ. 学習支援
	エ. 子育て支援事業
	オ. 世代間交流事業(昔あそび、ふれあい昼食会など)
	カ. 学校行事支援
	キ. こども食堂
4.地域福祉活動	ア. 地域別住民福祉懇談会、住民座談会、ボランティア懇談会・講座の開催
	イ. 生活改善、環境美化運動の推進
	ウ. 社会福祉協議会会員の募集
	エ. 地域行事への参加、援助、協力
	オ. 社会福祉団体の育成、援助
	カ. 社会福祉に関する調査、研究、PR活動
5.支えあい活動	ア. 支えあい活動の実施
	イ. 支えあいサービスの実施
	ウ. コミュニティ喫茶の実施
	エ. 買い物支援の実施
6.募金活動	ア. 共同募金運動への協力(共同募金事業の項参照)、赤い羽根・歳末たすけあい募金の街頭募金に協力
	イ. 「愛の箱」募金活動
7.研修事業	ア. 研修会、福祉講演会等の開催及び参加
8.広報活動	ア. 地区社協広報紙の発行(自治会・町内会等を通じ配布)
	イ. ホームページの開設(既設地区:佐倉東部、内郷、志津、臼井、千代田、ユーカーが丘、志津南、王子台、うすい東、根郷)
9.その他	ア. 福祉まつり・バザーの実施
	イ. いきいきサロン・100円喫茶の運営

3 地域福祉コーディネーターの設置

実施内容

ともに歩むふくしプラン4の重点目標を推進することに加え、これからの地域福祉推進に向けて、令和3年度より志津南部圏域をモデル圏域に定めて、地域福祉コーディネーターを1名配置し、地域福祉コーディネーター設置モデル事業を実施した。

(ア) 地域福祉コーディネーターの活動

生きづらさや制度のはざま課題を抱える方に支援をし、地域の課題を地域で解決できる地域づくりのため、「地域支援」「個別支援」「課題の共有と参加支援」を循環させて行うことで、共生社会の実現を目指す。モデル設置初年度の令和3年度は「知ってもらおう」を重点テーマとして活動した。

1. 地域支援

- ・自治会、関係機関、各種団体等の活動や会議等へ出向き、挨拶、情報収集、相談対応。
- ・西部地域福祉センターを拠点として活動(火・木・金10:00～15:00)。
- ・モデル圏域の地区社協(志津南・西志津)との定期的な連絡会。
- ・生活支援コーディネーターとの定期的な情報交換。
- ・電話やメールでの地域福祉コーディネーターに関する問合せ・相談対応。

2. 個別支援

- ・くらしサポートセンター佐倉や西部地域福祉センターと連携し、個別の支援が必要な対象者と継続的に直接関わり支援、関係づくりをし、必要に応じて、地区社協・自治会・民生委員等へのつなぎを行った。
- ・相談や情報提供を受け、他機関を紹介したり、調査・情報収集・情報交換等のつなぎを行った。

3. 課題の共有と参加支援

- ・志津南部圏域連携会議開催(コロナ禍のため1回参集)。
- ・ボランティアセンターと連携した、ボランティア活動の参加支援。
- ・地域活動に興味がある方への情報提供や参加団体へのつなぎを行った。
- ・市社協職員での自主勉強会に参加し、個別支援部署との課題の共有を行った。

4. その他

- ・チラシや地域新聞、ケーブルネット296を活用し、活動の周知・PR。
- ・調布市社協への視察研修。
- ・地域福祉フォーラムや各種会議等での活動報告。
- ・地域福祉コーディネータ推進検討会議。

(イ) 地域福祉コーディネーター推進検討会議

地域福祉コーディネーターが、地域支援、個別支援、課題の共有と参加支援を円滑に推進するために地域福祉コーディネーター推進検討会議を設置し、地域福祉コーディネーターの活動状況を共有し活動方針の判断やサポートまた必要な事務を行いました。

回数	開催日	会 場	内 容
1	4月20日(火)	会長室	①地域福祉コーディネーターの広報 ②具体的目標とスケジュール ③地域福祉コーディネーターの1日の動き
2	4月28日(水)	会長室	①地域福祉コーディネーターの広報 ②日常生活圏域ネットワーク会議 ③地域福祉フォーラム ④スケジュール
3	5月14日(金)	会長室	①日常生活圏域ネットワーク会議 ②調布市社協へ地域福祉フォーラムと視察研修の協力依頼 ③地域福祉コーディネーターの動き
4	5月28日(金)	会長室	①地域福祉コーディネーターの動き ②会議開催スケジュール
5	6月15日(火)	会長室	①地域福祉コーディネーターの活動状況と今後の活動 ②地域福祉フォーラム
6	6月30日(水)	会長室	①地域福祉コーディネーターの活動状況と今後の活動 ②モデル圏域での地域連携会議 ③プレスリリース
7	7月16日(金)	会長室	①地域福祉コーディネーターの活動状況と今後の活動 ②地域福祉フォーラム ③モデル圏域での地域連携会議 ④社協さくらでの広報と地域アセスメント
8	7月30日(金)	会長室	①地域福祉コーディネーターの活動状況と今後の活動 ②地域福祉フォーラム ③モデル圏域での地域連携会議 ④プレスリリース
9	8月16日(月)	会長室	①地域福祉コーディネーターの活動状況と今後の活動 ②地域福祉フォーラム
10	8月31日(火)	会長室	①地域福祉コーディネーターの活動状況と今後の活動について ②地域福祉フォーラムについて
11	9月16日(木)	会長室	①地域福祉フォーラムについて
12	10月15日(金)	会長室	①地域福祉コーディネーターの活動状況と今後の活動について ②ともに歩むふくしプラン4推進委員会について ③地域福祉コーディネーターの行動の共通認識について
13	10月29日(金)	会長室	①地域福祉コーディネーターの活動状況と今後の活動について ②ともに歩むふくしプラン4推進委員会について ③地域福祉コーディネーターの行動の共通認識について
14	11月15日(月)	会長室	①地域福祉コーディネーターの活動状況と今後の活動について ②令和3年度報告書について

15	12月2日(木)	会長室	①地域福祉コーディネーターの活動状況と今後の活動について ②令和3年度報告書について ③令和6年度地域福祉コーディネーター全域設置に向けて
16	12月21日(火)	会長室	①地域福祉コーディネーターの活動状況と今後の活動について ②調布市社協視察研修報告 ③令和3年度報告書について
17	2月1日(火)	会長室	①地域福祉コーディネーターの活動状況と今後の活動について ②令和3年度報告書について
18	2月15日(火)	会長室	①地域福祉コーディネーターの活動状況と今後の活動について ②令和3年度報告書について ③令和6年度地域福祉コーディネーター全域設置に向けて
19	3月2日(水)	会長室	①地域福祉コーディネーターの活動状況と今後の活動について ②令和3年度報告書について ③令和6年度地域福祉コーディネーター全域設置に向けて
20	3月16日(水)	会長室	①地域福祉コーディネーターの活動状況と今後の活動について ②令和3年度報告書について ③令和6年度地域福祉コーディネーター全域設置に向けて

4 地域包括支援センターとの連携(地域の輪)

実施内容

佐倉地域包括支援センターと連携し、主に佐倉地区民児協とも協議しながら、見守り支援体制づくりに向けて検討を重ねた。

(ア) 地域の輪会議

回数	開催日	会 場	内 容
1	4月16日(金)	佐倉地域包括支援センター	* 見守り支援 今後の進め方について * 千成ふれあいサービス進捗状況について * 城の辺地区社協買い物支援について * 白銀地区との関わりについて * ヤックス移動スーパーについて
2	4月26日(月)	佐倉地域包括支援センター	* 見守り支援 今後の進め方について ・4/30役員会の進め方 ・11月までのタイムスケジュール * 千成ふれあいサービス進捗状況について * 城の辺地区社協買い物支援について * 白銀地区との関わりについて * ヤックス移動スーパーについて
3	5月10日(月)	佐倉地域包括支援センター	* 見守り支援 今後の進め方について ・4/30役員会の進め方 ・11月までのタイムスケジュール * 千成ふれあいサービス進捗状況について * 城の辺地区社協買い物支援について * 白銀地区との関わりについて * ヤックス移動スーパーについて
4	6月3日(木)	佐倉地域包括支援センター	* 見守り支援 今後の進め方について * 千成ふれあいサービス進捗状況について * 城の辺地区社協買い物支援について * 白銀地区との関わりについて * ヤックス移動スーパーについて
5	9月28日(火)	リモート	* 見守り支援 今後の進め方について ・佐倉地区民児協との災害時に備えた見守り支援体制づくりの検討

5 団体活動支援・連携

実施内容

福祉団体の活動を支援・推進するため、佐倉市社会福祉施設協議会、佐倉市障がい者団体等連絡会、佐倉市社会福祉法人の未来をつくる協議会の運営協力と活動支援をし、各団体、行政との連携を図った。

(ア) 佐倉市社会福祉施設協議会の運営協力と活動支援(定例会など)

No.	開催日	会場	内 容
1	5月13日 (木)	Zoomによるリモート会議	第1回定例会 ・施設長研修 1) 令和 2年度事業報告について 2) 令和 2 年度決算について 3) 就職フェアについて その他
3	8月27日 (金)	書面開催	第2回定例会 1. 報告事項 (1) 就職フェアの開催について 2. 議事 (1) 養護老人ホーム入所検討委員の推薦について (2) 佐倉市への提言について その他 (1) 福祉避難所の設置運営に関する資料の配付
4	5月19日 (水)	Zoomによるリモート会議	第1回就職フェア準備委員会 1) 前回の実施状況について 2) 今年度の方向性について 2) 開催に関わる確認事項について 3) 実施内容の確認について 4) 役割分担について 5) 今後のスケジュールについて
5	6月24日 (木)	社会福祉センター地下 研修室	第2回就職フェア準備委員会 1) 前回準備委員会の振り返り 2) 会場レイアウトについて 3) チラシのデザイン及び配布までのスケジュールについて 4) 役割分担について 5) 今後のスケジュールについて 6) その他
6	7月29日 (木)	Zoomによるリモート会議	第3回就職フェア準備委員会 1) 前回準備委員会の振り返り 2) チラシの配布までのスケジュールについて 3) 会場レイアウトについて(添付レイアウト案) 4) 会場準備 5) コロナ対応の諸注意 6) 今後のスケジュールについて
7	9月4日 (土)		令和3年度就職フェア 令和3年度「佐倉市社会福祉施設協議会福祉のしごと説明会」 →新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催見送り
8	1月11日 (火)		・第3回定例会 →新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催見送り
9	3月15日 (火)		第4回定例会 →新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催見送り

(イ) 佐倉市障がい者団体等連絡会の運営協力と活動支援(定例会)

No.	開催日時	会 場	内 容
1	5月26日(水)	書面決議	・令和2年度事業報告及び決算報告 ・令和3年度役員体制(案) ・令和3年度事業計画(案) ・令和3年度予算(案) ・ともに歩むふくしプラン4推進委員会委員の推薦
2	7月28日(水)	社会福祉センター 2階会議室	佐倉市からの概要説明 ・第6次佐倉市障害者計画 ・第6期佐倉市障害福祉計画
3	9月29日(水)	西部地域福祉センター 研修室	新型コロナウイルス感染拡大のため開催見送り
4	11月24日 (水)	西部地域福祉センター 会議室1. 2	・新役員紹介 ・ともに歩むふくしプラン4の概要 ・令和2年度「まちのバリア点検会」佐倉市への提言書の再確認 ・令和3年度「まちのバリア点検会」の開催 ・「避難所アンケート」の実施
5	1月27日(木)	西部地域福祉センター 会議室1. 2	・令和3年度「まちのバリア点検会」実施の可否 ・令和4年度事業計画の検討 ・「避難所アンケート」の回収 ・ボランティアセンター運営委員会の報告
6	3月30日(水)	西部地域福祉センター 会議室1. 2	○報告事項 まちのバリア点検会報告書にかかる佐倉市への提言書の回答に対する再確認ならびに市長訪問 ○協議事項 ・令和4年度事業計画 ・令和4年度予算 ・「避難所アンケート」の集計結果 ・佐倉市ボランティアセンター運営委員の推薦 ・佐倉市障害者差別解消支援地域協議会委員の推薦

a. まちのバリア点検会ワーキンググループ

No.	開催日時	会 場	内 容
1	10月15日 (金)	西部地域福祉センター 会議室3	・佐倉市への提言書に対する回答 ・第4回まちのバリア点検会(ユーカリが丘地区)の実施の可否
2	11月5日(金)	社会福祉センター 2階V連室	・佐倉市への提言書に対する回答 ・第5回まちのバリア点検会(ユーカリが丘地区)の実施の可否
3	2月3日(木)	西部地域福祉センター 会議室3	・第4回まち点検会実施(2/20)の可否 ・まちのバリア点検にかかる市長への提言書の回答に対する再確認 ・市長訪問
4	3月25日(金)	市役所1号館応接室	・まちのバリア点検にかかる市長への提言書への回答に対する再確認と要望のため市長訪問

b. 市民がつくる住みよいまちづくり点検

No.	開催日	会場	内容
1	2月20日(日) <延期>	京成ユーカリが丘駅 構内・周辺、志津コミュニティセンター、イオンタウンユーカリが丘	新型コロナウイルス感染拡大防止のため次年度へ延期

c. 三役会

No.	開催日時	会場	内容
1	5月7日(金)	佐倉市社会福祉 センター2階会議室	協議事項 ・令和3年度第1回運営委員会の開催方法 ・令和3年度第1回運営委員会の協議内容 ・令和2年度事業報告及び決算報告 ・令和3年度役員体制(案) ・令和3年度事業計画(案) ・令和3年度予算(案) ・ともに歩むふくしプラン4推進委員会 委員の推薦 ・佐倉市ろう者協会主催「咲む」映画上映会にかかる実行委員 選出
2	7月13日(火)	佐倉市社会福祉 センター2階会議室	協議事項 ・令和3年度第2回運営委員会の開催の可否 ・令和3年度第2回運営委員会の内容 ・佐倉市障害福祉課の施策説明 ・ともに歩むふくしプラン4 ・まちのバリア点検会 ・市長との懇談会
3	11月14日 (日)	西部地域福祉 センター会議室3	・ともに歩むふくしプラン4(第6次地域福祉活動計画) ・令和2年度「まちのバリア点検会」佐倉市への提言書の再確認 ・令和3年度「まちのバリア点検会」の開催 ・「避難所アンケート」
4	3月17日(木)	西部地域福祉 センター会議室3	・まちのバリア点検会報告書にかかる佐倉市への提言書の回答 に対する再確認ならびに市長訪問 ・令和4年度事業計画 ・令和4年度予算 ・「避難所アンケート」の集計結果 ・佐倉市ボランティアセンター運営委員の推薦 ・佐倉市障害者差別解消支援地域協議会委員の推薦

(ウ)佐倉市社会福祉法人の未来をつくる協議会の運営協力と活動支援

役員会

回	日時／会場		内容
1	7月28日(水)	市社協会長室	・令和2年度事業報告、決算 ・令和3年度事業計画及び予算 ・コロナ禍での社会福祉法人運営
2	3月28日(月)	市社協会長室	・令和3年度事業未実施報告 ・令和4年度事業計画 ・令和4年度予算

(エ)印旛・香取地区中途失聴・難聴者のための手話学習会と手話サロン助成

助成額	50,000円
対 象	印旛地区中途失聴・難聴者

(オ)民生委員・児童委員関連業務

佐倉市民生委員・児童委員協議会理事会及び各地区定例会に参加し、情報交換・連絡調整を行った。新型コロナウイルス感染予防のため、状況に合わせ連携方法を工夫した。

6 さくらあったか食堂ネットワーク

実施内容

佐倉市内で子ども食堂・地域食堂を実施している団体のネットワークの事務局を担い、加盟団体同士の情報交換や広報活動など側面支援を行った。

(ア) 定例会(ネットワーク会議)

No.	開催日	会場	内 容
1	4月26日(月)	佐倉市社会福祉センター 地下研修室	*各団体の活動報告と今後の活動について *あったか食堂ネットワークの活動報告と今後の活動について *あったか食堂ネットワークに加入団体(10番目)について *ライオンズクラブより報告 *その他 ・子ども食堂ネットワークむすびえよりの情報について ・中国料理kujikuj様(王子台)からの寄付について ・(株)ジイ・シイ企画様の地域通貨による寄付 ・さくらあったか食堂ネットワーク(10団体)のマップについて
2	5月31日(月)	佐倉市社会福祉センター 地下研修室	*各団体の活動報告と今後の活動について *あったか食堂ネットワークの活動報告と今後の活動について *歳末たすけあい等の助成金について *スクールソーシャルワーカー(北総教育事務所)より報告 *西川悟平氏のピアノコンサートについて(芽ぶきより) *その他 ・ファミリーマート フードバンクについて ・子ども食堂ネットワークむすびえよりの情報について ・中国料理kujikuj様(王子台)4月分の寄付(15,200円) ・お弁当容器について
3	6月24日(木)	佐倉市立中央公民館 研修室2	*各団体の活動報告と今後の活動について *あったか食堂ネットワークの活動報告と今後の活動について *あったか食堂ネットワークの取材について (こうほう佐倉8/1号、広報番組) *スクールソーシャルワーカー(北総教育事務所)より報告 *西川悟平氏のピアノコンサートについて(芽ぶきより) *ファミリーマート フードバンクについて *子ども食堂ネットワークむすびえよりの情報について *お弁当容器(電化ポリマー様からの寄付)について *地元企業 常盤植物化学研究所様より報告
4	7月29日(木)	佐倉市立根郷公民館 ホール	*各団体の活動報告と今後の活動計画について *さくらあったか食堂ネットワーク設立2周年記念事業について *子ども食堂・地域食堂活動の「こうほう佐倉・市番組」取材による特集・放映について *ライオンズクラブより報告 *あったか食堂ネットワーク各団体との懇談について *スクールソーシャルワーカーより報告 * (株)オリエンタルランドからの災害時用備蓄米の提供希望団体の取りまとめ依頼について *プラスチックグローブ・子ども用マスクの提供について *こども食堂あんしん手帖の配布について *各団体の保険の加入状況の確認について *あったか食堂ネットワーク各団体からの行事・イベント等の後援・協力へのルール確認について

5	9月7日(火)	リモート会議	*各団体の夏休み活動報告とコロナ禍における子ども食堂活動の実施について *子ども食堂・地域食堂活動の『こうほう佐倉』及びウィークリーさくら放映の反響について *さくらあったか食堂ネットワーク設立2周年記念事業について *さくらあったか食堂MAPの更改について *子ども政策課より報告 *ライオンズクラブより報告 ・クリスマス時期のケーキ寄贈のご提案について *「#学校ムリでもここあるよ」の活動報告について
6	10月21日(火)	佐倉市立中央公民館 研修室2	*報告事項 ・佐倉市内子ども食堂・地域食堂一覧表の更改について ・佐倉市子育て支援ハンドブックの更改について ・各団体の活動報告とコロナ禍における子ども食堂活動の実施について *協議事項 ・さくらあったか食堂ネットワーク設立2周年記念事業について ・さくらあったか食堂MAP更改と各団体活動集作成について ・ライオンズクラブ様からクリスマスケーキ寄贈ご提案について ・さくまちプロジェクト(11/6・11/7)への参加・協力について ・子ども食堂・地域食堂活動の保険について ・酒井保氏を囲んだ勉強会(11/1)の開催について ・寄付物品支援に関する検討事項について ・事務局より報告 ・佐倉市子どもの生活状況に関する資源量調査への協力依頼について ・子ども食堂活動の『こうほう佐倉』掲載について ・ファミリーマートのフードバンク支援について(寺崎食堂)
7	11月30日(火)	佐倉市立中央公民館 学習室3	*支援団体との懇談会 ・ライオンズクラブの取組みと子ども食堂支援について *報告事項 ・子ども食堂・地域食堂のいまとこれからを考える勉強会について ・臼井地区社協のさつまいも畑の収穫祭(芋掘り会)について ・さくまちDaysの活動報告について ・コロナ禍における各子ども食堂活動の実施状況について *協議事項 ・弁当容器支援の要請と取りまとめについて ・子ども食堂・地域食堂活動の保険について ・さくらあったか食堂ネットワーク設立2周年記念事業について ・ライオンズクラブからのクリスマスケーキご寄贈について ・さくらあったか食堂加盟団体の活動集の作成について ・寄付物品支援に関する検討事項について ・佐倉市子どもの生活状況に関する資源量調査への協力依頼について ・企業・事業所からの食料品寄付のご相談について ・子ども食堂活動の『こうほう佐倉』掲載原稿の提出協力について

8	3月1日(火)	リモート会議	*報告事項 ・金銭・物品寄付に関する報告 ・地域新聞の取材による新聞掲載の件について ・千葉県子ども食堂ネットワーク会議(R4.1.26)の報告 ・コロナ禍の子ども食堂・地域食堂の概況報告について ・市社協ホームページでの「さくらあったか食堂」紹介ページ開設について ・佐倉市子どもの生活状況に関する資源量調査とヒアリング調査協力のお礼について *協議・検討事項 ・子ども食堂芽ぶき からの相談について ～佐倉市内子ども食堂×イオンタウン×チバベジスムージー販売projectについて～ ・寄附食品の保管・受渡しのしくみづくりの試行について ・さくらあったか食堂ネットワークの総会開催に向けた内容検討について ・「さくらあったか食堂ネットワーク研修会」延期に伴う今後の方針について ・外部の助成金情報の活用について ・『こうほう佐倉』への活動状況の掲載 ・オリエンタルランドからの「防災備蓄米」支援の希望有無の取りまとめについて
---	---------	--------	---

(イ) 役員会(ネットワーク会議)

No.	開催日	会場	内 容
1	12月16日 (木)	佐倉市社協 ボランティア連絡協議 会室	*ライオンズクラブからの支援について *『さくらあったか食堂MAP』・『佐倉市内子ども食堂・地域食堂便覧』の配布について *さくらあったか食堂ネットワーク寄附者へのお礼状等の対応について *さくらあったか食堂ネットワークの事業計画と予算化・役員の検討について *食料品寄付の受取り・配布方法の仕組みづくりについて *令和4年1月定例会研修【衛生管理及び保険等】について
2	1月30日(日)	リモート会議	*報告事項 ・金銭・物品寄付に関する報告 ・地域新聞の取材による新聞掲載の件について ・千葉県子ども食堂ネットワーク会議(R4.1.26)の報告 ・食を軸にした場づくり準備会の報告について *協議・検討事項 ・子ども食堂芽ぶきからの相談について イオンとタイアップしたスムージーづくりのことについて ・「さくらあったか食堂ネットワーク研修会」延期に伴う今後の方針について ・コロナ禍の子ども食堂・地域食堂の活動継続に向けた工夫などについて ・さくらあったか食堂ネットワークの総会開催に向けた内容検討について

(ウ) 講師派遣

No.	開催日	会場	内 容
1	10月28日 (木)	佐倉市社会福祉センター 3階中会議室	* 佐倉市民生委員児童委員協議会 児童専門部会 ・佐倉市内の子ども食堂・地域食堂の活動実践報告 ・民生委員にお願いしたい視点
2	1月26日 (水)	佐倉市社会福祉センター 会長室	* 千葉県子ども食堂ネットワーク会議 さくらあったか食堂ネットワークの実践報告

(エ) 研修会

No.	開催日	会場	内 容
1	11月1日 (月)	佐倉市社会福祉センター 中会議室	* 子ども食堂・地域食堂のいまとこれからを考える勉強会 講師 ご近所福祉クリエイター 酒井 保 氏
2	1月30日(日) ※まん延防止 等重点措置発 令により延期	佐倉市立中央公民館 大ホール	* 衛生管理に関すること 講師 (株)千葉衛生科学検査センター 営業部グループリーダー 新保 昌康 氏 * 千葉県内の子ども食堂について * 子ども食堂活動に関する保険について 講師 千葉県子ども食堂ネットワーク会議 こがねはら子どもまつど子ども食堂の会 代表 高橋 亮氏

(オ) 活動支援協力

1	あったか食堂ネットワークチラシの市役所・公共施設・学校等への配架協力
2	西川吾平オンラインコンサートのチラシ配架協力
3	金銭・食料品寄附の連絡調整

(3) ボランティアセンター

実施内容

ボランティアの依頼や活動紹介のコーディネート、登録ボランティアへの活動支援、登録や保険に関する受付を行った。また、地域福祉センター、その他関係機関との連携、福祉教育やボランティア講座、広報等の情報発信により、新たな担い手の発掘、育成、ボランティア活動の普及推進の取り組みを行った。

1 ボランティア活動の普及・推進

(ア) ボランティアのコーディネート

ボランティアコーディネーターの配置

常勤体制でボランティアコーディネーターを配置し、コーディネート機能の充実を図った。また、各種研修会に積極的に参加することで、ボランティアコーディネーターのスキルアップや、関係機関とのネットワーク強化など、センター機能の強化をはかり、地域のボランティア活動の拠点としての機能の充実と活性化を図った。

相談に対するコーディネート

種別	佐倉市VC	西部VC	合 計
支援希望相談	65件	8件	73件
活動希望相談	72件	24件	96件
情 報 提 供	43件	9件	52件

(イ) ボランティア情報提供

ボランティア情報提供

- ・ボランティア募集、助成金情報、各種研修会等情報提供(随時)
- ・ホームページでのボランティア団体情報提供(随時更新)
- ・ボランティア受入先紹介を作成し、社会福祉協議会のホームページに掲載
- ・ボランティア体験情報の継続提供

通年でボランティア体験が可能な団体・機関の情報を提供を行うことで、より身近な場所での地域活動に参加できる体制づくりに努めた。

(ウ) ボランティアの登録と斡旋

	グループ数 (通年)	グループ登録人数 (通年)
ボランティアグループ 登録団体数・人数	99団体	2, 509名

	個人ボランティア (通年)
個人ボランティア 登録人数	186名

(エ)グループ活動費助成の交付

ボランティアグループの活動の育成を図ることを目的に、交付した。

助成金交付決定団体:51団体	助成金交付決定額①	1,247,800円
助成金返還団体(全額):3団体	助成金返還金額②	149,385円
助成金返還団体(一部):6団体	助成金確定額①－②	1,098,415円

a. 備品購入助成(令和3年度)

No.	グループ名	助成金交付額	返還額	助成金確定額
1	佐倉わくわく体操会 結の会	80,000	0	80,000
合 計		80,000	0	80,000

b. 活動助成(令和3年度)

No.	グループ名	助成金交付額	返還額	助成金確定額
1	点訳サークル野菊の会	5,000	0	5,000
2	佐倉市こおろぎの会	25,000	0	25,000
3	佐倉地域文庫連絡会	25,000	0	25,000
4	むぎの会	25,000	0	25,000
5	楡の会	25,000	0	25,000
6	ボランティアグループありんこ	25,000	0	25,000
7	まあるい会	25,000	0	25,000
8	ガールスカウト千葉県第84団	25,000	0	25,000
9	ユーカリ和の会	25,000	0	25,000
10	ふきのとう	25,000	0	25,000
11	手話サークル「希望」	25,000	0	25,000
12	虹の会	25,000	0	25,000
13	さくらネイチャーゲームの会	25,000	0	25,000
14	すおうの輪	15,000	0	15,000
15	ふれあいいきいきサロン白銀	25,000	0	25,000
16	佐倉印旛沼ネットワークの会	25,000	0	25,000
17	人づくり街づくり環境づくり	25,000	0	25,000
18	要約筆記サークル『あうん』	25,000	0	25,000
19	特定非営利活動法人 印旛沼広域環境研究会	25,000	0	25,000
20	手話ダンス虹	25,000	7,480	17,520
21	西志津四季の会	25,000	0	25,000
22	手話サークルコアラの会	25,000	0	25,000
23	カレッジ園芸	25,000	0	25,000
24	朗読サロン「こおろぎの輪」	25,000	13,667	11,333
25	花工房リーベ	25,000	0	25,000
26	草笛&リーフル 「ハッピー〇はっば」	25,000	0	25,000
27	手話ダンスロード	25,000	25,000	0
28	高齢者いきいきクラブ 「コケコッコ村」	25,000	0	25,000
29	チーム麦畑	25,000	0	25,000
30	佐倉小学校ガード ボランティア「ひまわり会」	25,000	0	25,000

31	元気シルバー応援隊	12,800	0	12,800
32	あすなろ22	25,000	24,890	110
33	加賀清水22期会	25,000	0	25,000
34	ねっこの会	25,000	0	25,000
35	296アイアイ会	25,000	0	25,000
36	さくら輪の会	25,000	9,000	16,000
37	届けよう笑顔を！ 「ニコニコ合衆国」23	25,000	25,000	0
38	ユートピア時崎弁天	25,000	0	25,000
39	ハーモニーの会	13,000	0	13,000
40	花の散歩道	25,000	0	25,000
41	チーム・コピット	25,000	25,000	0
42	佐倉路地裏探検隊	25,000	0	25,000
43	アロハ・プア・ナニ	20,000	0	20,000
44	佐っちゃん・倉くん応援隊25	20,000	9,368	10,632
45	キャロット白銀	20,000	0	20,000
46	影絵塾9	25,000	0	25,000
47	NOUT(ノーツ)	25,000	0	25,000
48	NPO法人 さくらの咲く丘	25,000	0	25,000
49	歌声の広場	12,000	9,980	2,020
50	NPO法人 子どものまち	25,000	0	25,000
合 計		1,167,800	149,385	1,018,415

(オ)会議の開催

a 施設ボランティア担当者連絡会

日 時	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。
-----	--------------------------

b ボランティアセンター運営委員会の開催

第1回	日 時	5月25日(火) 午前10時～11時30分(リモート・参集会議)
	会 場	佐倉市社会福祉センター2階会議室(参集会場)
	報告事項	①令和2年度ボランティアセンター事業報告について ②コロナ禍におけるボランティア活動について ③『ともに歩むふくしプラン4』について ④令和3年度ボランティアセンター事業計画について ⑤令和3年度登録状況について ⑥行事・イベントについて ⑦ボランティアセンターの相談状況について ⑧令和3年度ボランティア活動助成金の募集について
	協議事項	①ボランティア活動助成金選考委員会委員の推薦について ②ともに歩むふくしプラン4推進委員会委員の推薦について ③ボランティアによる「見守り」活動への助成について ④ボランティア活動に関するアンケート回答状況について
	出席者数	運営委員9名(欠席2名)
	傍聴者数	0名
第2回	日 時	8月31日(火) 午前10時～11時30分(リモート・参集会議)
	会 場	佐倉市社会福祉センター2階会議室(参集会場)
	報告事項	①緊急事態宣言発令下のボランティア活動の指針について ②共同募金運動の街頭募金活動の休止について ③令和3年度ボランティア活動助成金の助成団体について ④福祉教育の活動について ⑤ボランティアセンターの相談状況について
	協議事項	(1) コロナ禍によるボランティア活動の推進について ①「施設ボランティア受入調査」の取りまとめ結果から ② 共同募金街頭募金活動に代わるできる活動の検討について ③西部、南部ボランティアセンターPR・啓発・周知拡充方策について
	出席者数	運営委員10名(欠席1名)
	傍聴者数	0名
第3回	日 時	12月14日(火) 午前10時～11時30分(リモート・参集会議)
	会 場	佐倉市社会福祉センター2階会議室(参集会場)
	報告事項	① 緊急事態宣言解除後のボランティア活動の指針について ②福祉教育・福祉体験活動報告について ③各ボランティアセンターの相談状況について
	協議事項	①コロナと向き合ったボランティア活動の推進について ②今後の会議・行事の持ち方について ③ボランティアセンター運営委員会委員任期期間延長について
	出席者数	運営委員8名(欠席3名)
	傍聴者数	0名

第4回	日 時	3月29日(火) 午後1時30分～3時30分(リモート・参集会議)
	会 場	佐倉市社会福祉センター2階会議室(参集会場)
	報告事項	①オミクロン株由来の新型コロナウイルス感染急拡大にかかるボランティア活動の指針(通知)について ②各ボランティアセンターの相談状況について ③ボランティア会議及びボランティア登録更新の方針について ④令和3年度ボランティアセンター事業報告(中間)について
	協議事項	①コロナと向き合ったボランティア活動の推進について ～令和4年度のボランティアセンター活動の推進に向けて～ ②ボランティアセンター運営委員会次期委員の推薦について
	出席者数	運営委員10名(欠席1名)
	傍聴者数	0名

c ボランティア活動助成対象選考委員会の開催

第1回	日 時	7月29日(木) 午前10時～正午 (リモート・参集会議)
	内 容	①委員長・副委員長の選任について ②諮問 1) 備品購入助成にかかる申請団体からのプレゼンテーションについて 2) 活動助成にかかる申請団体の選考について 3) ボランティア活動助成にかかる答申について
	出席者数	委員6名(欠席1名)
	傍聴者数	0名

d ボランティア会議

日 時	参集方式の会議は「中止」とし、各団体・個人ボランティアへ郵送による書類送付
内 容	①令和4年度のボランティア登録更新・ボランティア保険の加入方法について ②令和3年度活動報告、決算報告について

e ボランティア向け研修

①やさしいZoomの使い方研修会

日 時	5月18日(火)【リモート研修】 ①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時
会 場	佐倉市社会福祉センター2階会議室(参集会場)
内 容	*講師:NPO法人千葉県介護支援専門員協議会 事務局長 船津 良 氏 ①Zoomの基本的操作方法について ②ホストとしての操作方法について *参加者:22名(①午前の部:9名、②午後の部:13名)

f ボランティア活動に関する講師派遣

①コミュニティカレッジさくら

日 時	9月4日(土)午前10時～正午
会 場	佐倉市立臼井公民館2階 集会室
参加者	受講生9名、世話人2名
内 容	①佐倉市社会福祉協議会 ボランティアセンターの紹介 ②ボランティア活動の4つの原則 ③ボランティア活動の心がまえ ④ボランティア活動実践者(ゲストスピーカー)からの講話 <ゲストスピーカー> ・千代田地区民生委員児童委員協議会 会長 高野 富佐代 氏 ・佐倉市ボランティアセンター登録個人ボランティア 高橋 正彦 氏 ⑤佐倉市内のボランティア活動の現状 ⑥これからボランティア活動をするために

2 佐倉市ボランティア連絡協議会の活動支援

活動費助成	176,992円
活動内容等	運営委員会開催、広報紙発行、役員会開催
支援内容等	役員会出席 (Zoomリモート会議の運営支援) 運営委員会出席 Zoom契約にかかる側面支援 『はらっぱ』の配架にかかる調整支援 活動上の相談・支援、施設利用手続き、連絡調整、

3 福祉教育推進事業

(ア)福祉学習に関する企画・実践への支援

No.	依頼者・実施場所	実施日	支援内容
1	臼井小学校 (3年生)	①10月13日(木) ②10月20日(水) ③10月25日(月)	①点字の説明と体験について(各クラスごと・計2回) ②視覚障がい当事者からの講話(学年全体・計1回) ③音声録音の活動について(学年全体・計1回) 参加者:45名
2	臼井老幼の館	11月7日(日)	①車いすの基本的操作と演習 ②移動サービス車両の説明と福祉車両体験 参加者:5名 ボランティア協力3名(移動サービスコーディネーター)
3	ボーイスカウト 佐倉第2団	12月5日(日)	①視覚障がいについての説明と介助方法と体験 ②車いすの基本的操作と演習(近隣公園において) ③移動サービス車両の説明と福祉車両体験 参加者:20名 ボランティア協力1名(移動サービスコーディネーター)
4	山王小学校 (3年生)	1月9日(水)	①聴覚障がい者の講話 ②簡単な手話体験 参加者:31名

(4)企画広報

1 広報啓発事業

実施内容

社会福祉への理解と参加を促進するため、広報活動を展開した。「わかりやすい広報づくり」を念頭に「社協さくら」を年3回発行した。また、Facebookも活用して社会福祉協議会活動の動向を積極的に発信し、関心と理解、協力を得られるように努めた。尚、年々減少しているホームページのアクセス数は、今後ブランド構築の取り組みと併せてアクセス数増加に努めていく。

(ア)社協さくらの発行

No.	号 数	発行年月日	発行部数(部)	折込部数(部)
1	第203号	令和3年7月1日	46,750	45,750
2	第204号	令和3年10月1日	46,750	45,750
3	第205号	令和4年3月1日	46,750	45,750

(イ)ホームページ

アドレス <http://www.sakurashakyo.or.jp>

年度	アクセス数	月平均アクセス数
3	10,768	897
2	11,900	992
元	19,298	1,608

(ウ)その他の広報活動

No.	内 容
1	Facebookへの投稿(フォロワー数864名)
2	千葉県社協広報紙「福祉ちば」を関係者に配布

(5) 善意銀行

実施内容

広く市民の善意を金銭及び物品として受け、これを効果的に還元した。小口貸付資金は、生活保護世帯または、それに準ずる世帯の一時的な困窮を切り抜けるための費用として無利子で貸付を行うものである。相談内容が従来に比べ多様化しているため、関係機関とも密接に連携しながら対応している。償還が遅れがちな借受世帯については、民生委員などと協力して、状況把握や償還指導を行った。また新型コロナウイルスにより食料を必要とする世帯が急増し、「フードバンクちば」や関係機関とも連携して支援に取り組む他、Facebookにより広く協力を呼びかけ例年以上の寄附をいただき生活困窮者支援を行った。

1 金銭、物品の預託、払い出し

(ア) 金銭口座

預 託

種別	3年度		2年度		元年度	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
一般預託	12	284,280	30	21,110,000	9	254,167
指定預託	6	433,682	9	408,640	12	1,307,784
合 計	18	717,962	39	21,518,640	21	1,561,951

払 出

払出	3年度		2年度		元年度	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
災害見舞	3	50,000	8	100,000	38	375,000
帰宅旅費	11	5,380	15	6,890	10	3,530
指定払出	6	433,682	9	408,640	12	1,307,784
合 計	20	489,062	32	515,530	60	1,686,314

(イ) 物品口座

物品名	預託件数(件)			払出件数(件)		
	3年度	2年度	元年度	3年度	2年度	元年度
食 品	397	249	122	553	522	450
その他	86	106	145	45	78	121
合 計	483	355	267	598	600	571

2 小口貸付事業

貸付件数

世帯種別	3年度		2年度		元年度	
	件数	金額(円)	件数	金額	件数	金額
生活保護世帯	65	2,673,000	88	2,515,000	79	3,030,000
生活保護申請世帯	1	40,000	0	0	0	0
一般世帯	38	1,575,000	72	3,930,000	27	944,400
合計	104	4,288,000	160	6,445,000	106	3,974,400

償還額

償還額(円)	3年度	2年度	元年度
	4,288,000	5,320,976	3,934,090

3 フードドライブへの協力

実施期間	件数	総重量
第27回(令和3年5月17日～6月30日)	49件	365.8kg
第28回(令和3年9月13日～10月29日)	84件	2129.8kg
第29回(令和4年1月17日～2月28日)	56件	203.4kg

(6)在宅福祉事業

実施内容

家に閉じこもりがちな高齢者が、地域においてボランティア等と共にふれあいの機会を持つことにより、いきいきとした生活ができるよう支援を行った。

1 ふれあい・いきいきサロン

No	グループ名	実施回数	延利用者数
1	ふれあいいきいきサロン白銀	0回	0人

※令和3年度はコロナ禍でサロン活動は中止としましたが、訪問による安否確認を工夫した取り組みとして実施しました。

2 ふれあい型食事サービス

No	グループ名	実施日	対象者数
1	ふきのとう	毎月第1金曜日	529人
2	むぎの会	毎月第2火曜日	349人
3	虹の会	毎月第2金曜日	379人
4	すおうの輪	毎月第3火曜日	485人
5	ユーカリ和の会	毎月第4火曜日	123人
6	キャロット白銀	毎月第2木曜日	90人
合 計			1,955人

※ 令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、従来のボランティアグループが弁当を届ける活動が困難となり、材料費を弾力的に活用し、弁当・茶菓・雑貨等の購入や電話や手紙安否確認など、緩やかな見守りにつながる活動など工夫した取り組みをしました。

食事サービスグループ懇談会

日 時	コロナ禍の影響で参集形式の懇談会は中止
内 容	コロナ禍で懇談会は中止となりましたが、各食事サービスグループの活動の様子をセンタースタッフが取材したものを取りまとめました。

3 おもちゃ図書館

実施内容

おもちゃを通じた障がい児と健常児のふれあいの場及び子育て支援の場、そして、障がいをもった子どもたちがおもちゃで遊びながら、楽しみながら体の機能や感覚、ことばを養い、成長を促すことを目的としておもちゃ図書館を開館し、おもちゃの貸し出しを行った。コロナ禍のため開館回数を減らし、貸し出しのみを中心に実施したが、利用者数は前年度から倍増した。

開館状況

開館場所	西部地域福祉センター		南部地域福祉センター		合 計
開館日	第2水曜	第3土曜	第2土曜	第4水曜	
開館回数	0回	9回	0回	9回	18回
利用者数	0人	118人	0人	164人	282人
うち障がい児数	0人	15人	0人	49人	64人
貸出点数	0点	102点	0点	28点	130点
ボランティア数	0人	37人	0人	31人	68人
修理ボランティア数	0人	8人	0人	0人	8人

会議・研修の参加 2回・3人
布おもちゃ作成 8回・27人

移動おもちゃ図書館 0回・0人
おもちゃ整理・開館準備作業 2回・5人

4 車イス貸出事業

実施内容

市内在住の高齢者・傷病者などの外出や日常生活を支援するために車椅子を無料にて貸出した。また、小学校での総合学習や福祉教育などの教材としても貸出を行った。貸出窓口については、西部地域福祉センター(8台保有)、南部地域福祉センター(7台保有)及び市内20カ所の郵便局(各1台保有)にて行い、市民の利便性の向上に努めた。令和3年度は前年度に比べ利用件数は大幅に増加した。

区分別利用台数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
郵便局	11	9	6	11	7	6	50
西部地域福祉センター	7	4	2	6	6	6	31
南部地域福祉センター	1	4	7	4	1	2	19
合 計	19	17	15	21	14	14	100

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	年度計
郵便局	11	7	5	12	13	13	61	111
西部地域福祉センター	9	6	5	4	4	6	34	65
南部地域福祉センター	5	7	6	6	7	8	39	58
合 計	25	20	16	22	24	27	134	234

年度別貸出台数

区 分	3年度	2年度	元年度	30年度
郵便局	111	71	112	107
西部地域福祉センター	65	42	57	102
南部地域福祉センター	58	38	60	78
合 計	234	151	229	287

5 菊地久治奨学福祉事業

(ア) 勉学奨励奨学金

実施内容

佐倉市在住のひとり親世帯で低所得世帯に属する、意欲と能力のある学生の勉学支援を行うため、奨学福祉事業を実施している。令和4年度奨学生について、大学進学者、大学在学者の両方を対象に7月に募集、9月に第1次選考、11月に第2次選考をおこない、大学進学者1名を決定した。また、在籍奨学生の育成支援として、成績報告会や合同研修の実施の他、学業・生活等の個別の相談やボランティア活動の紹介を行った。

a. 勉学奨励奨学金 交付件数・金額(内訳)

年 度	在学生	進学決定者	合 計	交付額計
令和3年度	7	1	8	7,084,000円
令和2年度	5	0	5	4,597,730円
令和元年度	8	2	10	7,993,250円

※進学決定者は、その年度において、大学進学者向け募集で決定した者

※交付額は、在学生の当該年度学校納入額＋進学決定者の入学時納入金額の合計(令和2年度より国の奨学金制度による授業料免除が導入され、年度をまたいだ返還があり、年度の支出額と差異がでる場合がある。)

b. 卒業生・その他(辞退等)

年 度	
令和3年度	0
令和2年度	0
令和元年度	5
平成30年度	4
平成29年度	1
平成28年度	2
平成27年度	5
平成26年度	2
平成25年度	2(うち辞退1名)
平成24年度	1

※平成29年度卒業生(大学在学者1名)は、支給延長により、平成30年度大学院に入学した。

c. 広報PR・募集活動

令和4年度募集に関して、県内高等学校、対象と想定する大学、ホームページ、民生委員児童委員協議会、スクールソーシャルワーカーへ募集案内を周知した。

d. 奨学生選考委員会

大学進学希望者

回 数	開 催 日	会 場	出席者数	内 容
第1回	9月5日(日)	書面評決	委員5名	・諮問 ・奨学生第一次選考について(書類選考)

第2回	11月14日(日)	2階会議室	委員5名 職員3名	・奨学生第二次選考について(面接)
答申	11月19日(金)	※書面にて答申を行った。		

e. 奨学生への支援

月次報告の他、随時奨学生と連絡し、生活面・家庭面・学業面で困りごとや悩みごと等の状況確認を行い、奨学生への支援を行った。また、奨学生へ佐倉市内での社会奉仕活動についての情報を伝え、活動を支援した。

f 研修

奨学生が地域の活動や課題に触れ、学ぶ機会を通して、自ら意欲的に社会貢献できる人材を育成すること、また、奨学生同士の交流を通して互いに切磋琢磨しながら成長できることを目的に、奨学生の合同研修を年2回実施した。コロナ禍のため、外部と連携した研修はできなかったため、奨学生同士の交流と学びの場とした。

夏期交流研修

日 時	会 場	出席者	内 容
9月5日(日)	リモート開催	奨学生7名 事務局5名	コロナ禍での学業・生活状況・ボランティア活動について、リモートで交流・情報交換を行った。特にボランティア活動については、コロナ禍での状況について互いに参考になる機会となった。

冬期研修

日 時	会 場	奨学生出席者数	内 容
3月21日 (月)	社会福祉センター 3階中会議室	奨学生7名 事務局4名	1年間の学業・生活状況、コロナ禍で考えたことを個別に発表し、互いに講評をした。資料作成からプレゼンの方法を学び、学業や就職活動等へも活用できる機会とした。

g 生活状況報告会

奨学生より学校生活・学業成績・社会奉仕活動状況の報告を受け、次期に取り組む活動の課題と目標を整理して奨学生の一層の資質の向上につなげることを目的として成績報告会を2回開催した。対面での個別面接としたが、コロナ禍のため一部リモートでの面接を実施した。

日 付	時 間	内 容
11月14日(日)	午前9時～正午	・奨学生の前期学業成績 ・生活状況についての個別面談
3月21日(月)	午前9時～正午	・奨学生の後期学業成績 ・生活状況についての報告

(イ) 勉学奨励一時金

実施内容

令和3年度に生活福祉資金貸付事業の教育支援資金を借受者に対して、入学時に勉学奨励一時金を交付した。

勉学奨励一時金 交付件数・金額(内訳)

年 度	高等学校	専門学校	短期大学	大 学	その他	合 計	交付額
令和3年度	2	1	2	3	0	8名	250,000円
令和2年度	4	2	0	4	0	10名	300,000円
令和元年度	3	0	0	3	0	6名	180,000円

6 法人後見事業

実施内容

福祉サービス利用援助事業で培った高齢者や障害のある人への支援のノウハウを活かし、成年後見制度を活用し本人の意思決定を尊重した支援を行い、本人の権利擁護を実践した。

(ア)成年後見制度に関する広報・啓発活動

(イ)成年後見制度に関する相談業務

※ ア・イについては、成年後見支援センター事業で報告。

(ウ)成年後見人等の受任の可否に係る弁護士、司法書士との協議

開催日	対象者	申立類型	審査結果	審判の確定日
7月27日(火)	高齢者・女性	後見	可	令和3年9月9日
7月27日(火)	高齢者・女性	保佐	可	令和3年9月29日

(エ)後見業務(被後見人の身上保護及び財産管理) (令和3年4月～令和4年3月末)

被後見人	後見類型	生活形態	審判の確定日	支援回数
知的障害・男性 58歳	保佐	グループホーム入所	平成24年11月13日	75回
精神障害・女性 57歳	後見	精神病院入院	平成24年12月8日	24回
精神障害・男性 56歳	保佐	在宅	平成26年6月3日	47回
精神・高齢男性 72歳	後見	特別養護老人ホーム入所	令和3年9月14日	46回
高齢者・女性 74歳	後見	精神病院入院	平成27年9月8日	16回その後死亡
精神・高齢 男性 71歳	後見	精神病院入院	平成27年10月21日	17回
高齢者・女性 81歳	後見	特別養護老人ホーム入所	平成28年6月3日	19回
高齢者・女性 88歳	後見	特別養護老人ホーム入所	平成29年3月22日	31回
高齢者・女性 95歳	後見	特別養護老人ホーム入所	平成29年6月14日	35回
高齢者・女性 91歳	後見	特別養護老人ホーム入所	平成29年11月3日	12回
知的障害・男性 52歳	保佐	在宅	平成29年11月29日	32回
高齢者・女性 88歳	後見	特別養護老人ホーム入所	平成30年6月7日	26回
精神障害・女性 61歳	後見	特別養護老人ホーム入所	平成30年12月28日	21回
高齢者・男性 81歳	後見	ショートステイ利用	平成31年2月28日	69回
高齢者・女性 91歳	後見	有料老人ホーム入所	平成31年3月5日	23回
高齢者・女性 88歳	後見	有料老人ホーム入所	平成31年3月5日	10回その後死亡
高齢者・女性 83歳	後見	在宅	令和2年8月14日	42回
精神障害・男性 41歳	保佐	在宅	令和2年12月22日	165回
高齢者・男性 75歳	後見	特別養護老人ホーム入所	令和2年12月23日	27回
高齢・身体 女性 80歳	後見	特別養護老人ホーム入所	令和3年9月9日	17回
高齢者・女性 86歳	保佐	在宅	令和3年9月29日	37回

(オ) 監督業務(成年後見人の交代案件) (令和3年4月～令和4年3月末)

被後見人	後見類型	生活形態	選任の確定日	後見人
高齢者・女性 81歳	後見	特別養護老人ホーム入所	令和3年6月22日	NPO法人 佐倉市民後見人協会
高齢者・女性 94歳	後見	特別養護老人ホーム入所	令和3年6月24日	NPO法人 佐倉市民後見人協会

(カ) 後見業務における弁護士、司法書士等の専門家との連携

- ・必要に応じて弁護士相談や専門相談(成年後見支援センター)、あるいは電話対応。

(キ) 関係機関との連携

- ・銀行や郵便局との関わり
- ・家庭裁判所との関わり
- ・佐倉市役所関係各課との関わり(健康保険課・高齢者福祉課・障害福祉課・社会福祉課等)
- ・被後見人等の親族との関わり
- ・福祉施設、包括支援センター、相談支援事業所、在宅福祉サービス事業所等福祉関係機関との関わり
- ・病院、保健所等保健・医療機関との関わり
- ・弁護士、司法書士、社会福祉士等の専門職及び職能団体との関わり
- ・NPO佐倉市民後見人協会との連携

7 移動サービス事業

実施内容

電車、バス、タクシーといった公共交通機関を利用して一人で外出することが困難な高齢者や障がい者等が、通院、福祉サービスの利用や趣味などの社会参加を図るため、市民相互による支え合い事業として移動サービス事業を実施した。コーディネーター5名体制で事務局スタッフとコーディネーターによるケース会議を月2回開催し、利用会員の調査、協力会員の研修、サービスのコーディネートを行い、事業を実施した。地域貢献ドライバー表彰対象者は2名おり、表彰を行った。

(ア) 会員の状況

利用会員(メンバー)の状況

会員種別	令和3年度	令和2年度	令和元年度
利用会員 (メンバー)	63名	57名	58名
	介護認定51人、障がい者20人、その他4人(重複あり)	介護認定48人、障がい者16人、その他2人(重複あり)	介護認定44人、障がい者18人、その他3人(重複あり)
協力会員 (サポーター)	18名	21名	33名
後援会員 (スポンサー)	12件 32,000円	25件 45,000円	15件 34,000円

(イ) 利用目的別回数

年 度	通 院	送 迎	趣 味	買 物	その他	合 計
令和3年度	569	25	0	115	25	734回
令和2年度	232	26	13	48.5	6.5	326回
令和元年度	273.5	70	24.5	41	11	420回

※令和3年度より、(回数)集計方法を法人主体の移動サービス事業補助金報告に合わせた。

(ウ) 運行実績

年 度	稼働日	回 数	活動距離数	活動時間数	車両数
令和3年度	212日	734回	5,004.00km	811時間36分	4台
令和2年度	186日	326回	4,082.00km	991時間26分	4台
令和元年度	212日	420回	5,843.00km	1048時間18分	4台

※令和3年度より、(回数)集計方法を法人主体の移動サービス事業補助金報告に合わせた。

(エ) サポーター基本研修

年 度	実施日	参加者(修了者)
令和3年度	7月31日(土)、8月1日(日)	7名
内 容	・移動サービス概論 - 移動サービス活動の実際、移動サービスの利用者を理解する接遇と介助 ・移動サービスでの運転に必要な知識と心構え - 福祉車両について、運転実技 ・移動サービスに必要な介助技術 - 交通安全講習、修了証書授与(後日交付)	

(オ) サポーター現任者研修・交流会

年 度	実施日	参加者
令和3年度	2月17日(木)企画していたが、新型コロナウイルス感染予防・拡大防止のため参集での研修は中止した。研修予定内容(各病院の対応方法、車両操作方法)については、資料を作成・サポーターへ郵送し、書面での研修とした。	18名 (郵送)

(カ) 移動サービスコーディネーター会議

年 度	令和3年度
開催回数	12回

毎月2回、コーディネーターと職員が集まり、新規訪問ケースの報告・検討、訪問予定ケースの報告・調整、移動サービス運行上のケース情報の共有を行い、日常的運行の円滑化を図った。

※新型コロナウイルス感染症に対する緊急事態宣言、及び蔓延防止等重点措置期間中は中止した。

8 生活困窮世帯子ども支援事業

実施内容

元気に育て子ども基金を財源に佐倉市在住で経済的な理由等により生活困窮世帯に属する子どもが健やかに育つように必要な資金として支援金を交付し世帯の自立援助に寄与するために実施した。

(ア) 支援金交付実績

	件数	金額(円)	主な使途
4月	1	80,000	学費(一人親世帯で失職中、双子の子の高校入学金等支援)
5月	0	0	
6月	0	0	
7月	0	0	
8月	1	100,000	光熱費(多重債務世帯支援の一環として、子どもの生活環境支援)
9月	2	200,000	保育料、乳児ミルク代、生活費(親の失職により困窮した世帯の緊急支援)
10月	1	100,000	就学旅行費用(困窮により積み立てできなかった費用の支援)
11月	1	100,000	転居費用(多問題世帯の緊急転居費用支援)
12月	2	170,000	生活費、風呂設備費用(公営住宅入居時の設備の等支援)
1月	1	75,000	診断書、光熱費(障がいを持つ親の手續費用等支援)
2月	0	0	
3月	1	100,000	帰国のための飛行機チケット代(在留資格のなくなった母子の支援)
合計	10	925,000	

(イ) 関係機関などとの連携

生活困窮者自立支援事業での相談支援や児童青少年課、学校、民生委員など関係機関と連携し、困窮世帯の子ども支援に取り組んだ。

9 終末ケア・終活支援事業

実施内容

エンディングノート「心の遺言ノート」の告知をホームページや各種会議で行い、関係機関へ宣伝して21部を販売した。また、終活に関する講演会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を見送った。

(7)福祉総合相談事業

実施内容

日常生活上のさまざまな悩みを抱える地域住民に対して、相談に応じ、相談者ごとの諸問題について適切な助言と援助を行うことで、問題解決に向けての協力を行った。また、相談に対して即応し、早期問題解決へつなげるよう心配ごと相談窓口を開設した。さらに、内容によっては法律相談などの専門相談や関係機関へ結ぶなどの対応を行った。

また、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発出により、心配ごと相談及び法律相談を8月～9月の間中止とした。その他に1月～3月の間に蔓延防止等重点措置が発出された。この間は心配ごと相談所を中止としたが、相談ニーズを鑑み、一般相談員と専門相談員の協力の下、法律相談は開設を継続することができた。市民相談員及び心配ごと相談員合同研修、並びに心配ごと相談員会議は中止となった。

ア 設置状況

相談内容	開設場所		開設日	開設時間
心配ごと相談	佐 倉	社会福祉センター	毎週月曜日	10:00～15:00
	志 津	西部地域福祉センター	第1・3水曜日	10:00～15:00
	根 郷	南部地域福祉センター	第2・4金曜日	10:00～15:00
法律相談	社会福祉センター		毎月第4月曜日	10:00～15:00
介護生活相談	社会福祉センター		毎週月曜日～金曜日	8:30～17:00
ボランティア相談	社会福祉センター		毎週月曜日～金曜日	8:30～17:00
貸付相談	社会福祉センター		毎週月曜日～金曜日	8:30～17:00

イ 福祉総合相談所相談状況

相談名	相談件数			相談内容件数		
	3年度	2年度	元年度	3年度	2年度	元年度
心配ごと相談(佐倉)	32	13	61	34	13	73
〃 (志津)	15	13	19	16	13	21
〃 (根郷)	10	9	15	10	9	19
法律相談	40	48	49	62	48	86
介護生活相談	29	36	25	29	36	25
ボランティア相談	221	147	241	221	147	241
合計	347	266	410	372	266	465

ウ 内容件数内訳(心配ごと相談・法律相談)

相談事項		心 配 ご と									法 律			合 計 (心配ごと+法律)		
		佐 倉			志 津			根 郷			佐 倉			3年度	2年度	元年度
		3年度	2年度	元年度	3年度	2年度	元年度	3年度	2年度	元年度	3年度	2年度	元年度			
1	年 金	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	1	3	4	1	4
2	生 計	1	2	3	0	2	0	0	0	2	1	0	0	2	4	5
3	職業・生業	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	1	2	2	1
4	住 宅	2	1	4	3	1	0	1	0	0	3	0	3	9	2	7
5	家 族	6	5	21	6	2	6	2	4	6	3	2	2	17	13	35
6	DV問題	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
7	結 婚	8	0	1	1	0	1	1	1	0	4	4	4	14	5	6
8	離 婚	1	0	3	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	1	5
9	健康・衛生	2	0	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0	3	1	3
10	医 療	0	0	2	0	0	0	0	0	2	2	0	2	2	0	6
11	精神保健福祉	0	0	4	0	0	2	0	0	0	20	19	37	20	19	43
12	人権・法律	1	1	2	0	1	0	0	0	2	19	13	29	20	15	33
13	財 産	3	1	6	0	1	3	0	0	1	2	5	5	5	7	15
14	事 故	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
15	児童・母子保健	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
16	教育・青少年	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	1	0

17	心身障がい者福祉	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
18	母子・父子福祉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	高齢者福祉	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
20	苦 情	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3
21	ボランティア	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3	1	0	4	2	0
22	近 隣	3	2	12	3	0	3	2	0	1	0	0	0	8	2	16
23	その他	5	1	10	2	2	2	1	2	2	0	0	0	8	5	14
24	ひきこもり	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計		34	13	73	16	13	21	10	9	19	62	48	86	122	83	199

エ 会議及び研修

(ア) 市民相談員及び心配ごと相談員合同研修

新型コロナウイルス蔓延防止等重点措置期間のため中止。

(イ) 心配ごと相談員会議

新型コロナウイルス蔓延防止等重点措置期間のため中止。

(ウ) 令和3年度印旛ブロック市町社会福祉協議会 相談事業運営研究協議会

日 時	令和3年9月14日(火) 午後1時30分～午後3時
場 所	ZOOMによるオンライン開催
内 容	参加者:職員1名 ①「これからの地域福祉の視座」「福祉楽団の実践について」 講 師:飯田大輔氏(社会福祉法人福祉楽団理事長) ②印旛ブロック市町心配ごと相談所の概要一覧の配布

(エ) 佐倉市福祉総合相談所運営委員会

上半期開催時期が新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間と重なり中止。

下半期開催時期が新型コロナウイルス蔓延防止等重点措置期間のため開催できず、年間の相談内容の集計表の送付を運営委員に對し行った。

(8)受託事業

1 声の広報等発行事業

実施内容

市内在住の視覚に障がいのある方々に対して、地域で生活していくために必要な情報を載せた広報紙を音声や点字に変換して提供を市民ボランティアの協力を得て情報提供を行った。
また、点訳・音訳活動ボランティアや障がい当事者の協力を受け小学校での福祉教育を開催し、障がい者理解の一助につなげた。

【音 訳】

発行広報	発行回数	送付数	ボランティア数
こうほう佐倉	24回	561名／延べ人数	91名
こうほう佐倉(特集号) (健康福祉号/災害特集号)	2回	48名／延べ人数	5名
こうほう佐倉(臨時号) (第49回衆議院議員選挙公報) (新型コロナ関連臨時号)	2回	45名／延べ人数	7名
ともに歩むふくしプラン4 ダイジェスト保存版	1回	25名	4名
計	29回	679名／延べ人数	107名

【点 訳】

発行広報・書類	ボランティア数
野菊通信	72名
盲学校からの依頼	4名
個人・施設からの依頼	20名
計	96名

2 障害について学ぶ市民講座

実施内容

【障害者作品展『ふれあいギャラリー』】

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
-----	----------------------

3 生活福祉資金貸付事業

実施内容

千葉県社会福祉協議会から受託しているこの事業は、低所得世帯、高齢者世帯、障がい者・児世帯に対して、経済的自立と更生意欲の助長促進を図ることを目的としている。相談援助の中で必要な資金の貸付を行い、その後も継続して民生委員はじめ関係機関との連携のもとで、借受世帯を見守り、支援している。

今年度は令和2年度から続く、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた方を対象とする、緊急小口資金等特例貸付(新型コロナウイルス特例小口貸付資金と新型コロナウイルス特例総合支援資金)の申請において、新規貸付、再貸付、延長貸付と継続し、くらしサポートセンター佐倉と連携しながら貸付と自立相談に取り組んだ。

(ア)生活福祉資金貸付件数

資金種類		貸付決定件数(件)／金額(円)内訳					
		令和3年度		令和2年度		令和元年度	
総合支援資金	生活支援費					0	0
	住宅入居費					0	0
	一時生活再建費					0	0
	増額申請					0	0
	生活支援費(特例貸付)	175	106,380,000	508	275,820,000	0	0
	生活支援費(特例延長)			233	126,500,000		
	生活支援費(特例再貸付)	308	162,700,000	78	4,293,000		
緊急小口資金		73	4,165,000			53	3,285,000
緊急小口資金(特例貸付)		241	42,560,000	860	163,535,000	4	420,000
臨時特例つなぎ資金		0				0	0
教育支援資金	教育支援費・就学支度費	8	8,150,000	19	11,200,000	10	4,141,000
福祉費	転宅費	1	175,000	1		0	0
	障害者自動車購入費			1		0	0
	療養費	1	1,061,000			0	0
	福祉用具購入費					0	0
	住宅改修費			1		0	0
	小規模住宅改修					0	0
	災害援護費					0	0
	技能修得費			1	1,600,000	0	0
	冠婚葬祭	1	136,400			0	0
復興支援資金						0	0
不動産担保型生活資金						0	0
要保護世帯向け不動産担保型生活資金						0	0
合 計		808	325,327,400	1,702	582,948,000	67	7,846,000

(イ)貸付関係相談件数

貸付関連相談件数(延べ)	令和3年度	令和2年度	令和元年
	-	6,387	2,515

※特例貸付の対応は、事務局全体で初期相談、経過確認、連絡等を行ったため件数集計できず。

(ウ)生活福祉資金借受世帯支援状況の調査

12月に民生委員・児童委員協議会と連携し、生活福祉資金借受世帯に対する民生委員の支援活動状況の把握調査を行った。

4 日常生活自立支援事業

実施内容

千葉県社会福祉協議会からの委託を受け、高齢者や障がい者等判断能力に不安のある方が安心して地域生活を送るため、ご本人との契約により必要な福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行い本事業の推進を図った。

(ア)実施状況 令和4年3月末現在 (人)

年 度	3年度	2年度	元年度
新規契約者数	21	35	28
解 約 数	19	20	17
契約締結審査 会 承 認 数	10	17	12
県後見支援センター 事務局審査承認数	11	18	11

(人)

年 度	3年度	2年度	元年度
利 用 者 数	110	104	88
生活支援員数	20	21	18

(件)

年 度	3年度	2年度	元年度
福祉サービス利 用 援 助	110	104	88
財 産 管 理	108	102	87
財 産 保 全	5	4	6

対象別	契約ケース			解約ケース		
	人 数			人 数		
	3年度	2年度	元年度	3年度	2年度	元年度
高 齢 者	69	69	59	17	19	12
知的障がい	9	6	5	0	0	1
精神障がい	34	32	29	2	4	5
そ の 他	14	11	6	1	0	1
合 計	126	118	99	20	23	19

※重複あり

(支援回数)

回数別	人 数		
	3年度	2年度	元年度
月 1 回	68	66	59
月 2 回	27	24	24
週 1 回	3	3	1
そ の 他	12	11	4
合 計	110	104	88

(イ) 契約締結審査会

(件)

回数	開催日時	新規	評価	解約	契約変更	その他
第254回	4月20日(火)	3	13	1	0	0
第255回	5月25日(火)	1	5	3	0	0
第256回	6月22日(火)	2	7	0	2	0
第257回	7月20日(火)	1	5	4	0	0
第258回	8月17日(火)	1	4	0	1	0
第259回	9月21日(火)	0	10	1	0	0
第260回	10月19日(火)	1	7	1	1	0
第261回	11月16日(火)	3	12	1	0	0
第262回	12月21日(火)	0	10	0	0	1
第263回	1月18日(火)	2	4	2	0	0
第264回	2月15日(火)	0	13	4	0	0
第265回	3月15日(火)	0	12	1	0	0
合計		14	102	18	4	1

(ウ) 連絡会議

日 時	令和3年12月13日(月)13:30～15:30
場 所	事務局 会議室
出 席 者	専門員2名
内 容	【Web開催】令和4年度事業業務委託費(案)、利用料、成年後見制度利用促進体制整備状況、その他事業実施上の課題等についての意見交換

日 時	令和4年3月9日(水)13:30～15:30
場 所	事務局 会議室
出 席 者	専門員3名
内 容	【Web開催】令和4年度事業業務委託費(案)、今後の実施体制強化のための予算要望に向けて、令和3年度日常生活自立支援事業実績報告及び令和3年度専門員業務実績等調査案について、利用料の取り扱い、令和4年度事業予定、事業実施上の課題等についての意見交換

(エ) 現任生活支援員研修(佐倉市社会福祉協議会主催)

日 時	令和3年6月28日(月)13:30～15:00
場 所	社会福祉センター 地下研修室
出 席 者	生活支援員11名、法人後見支援員7名
内 容	事務連絡、「あさってから役立つ 生活支援員・法人後見支援員の活動と社協の目指す活動」講師:佐倉市社会福祉協議会次長 谷野宏輝

日 時	令和3年11月26日(金)13:30～15:00
場 所	社会福祉センター 地下研修室
出 席 者	生活支援員20名
内 容	事務連絡、生活支援員活動における事例の紹介、実施記録簿の記入方法について

(オ)その他研修会・会議等

日 時	令和3年8月31日(火)14:00～16:15
主 催	千葉県社会福祉協議会、千葉県後見支援センター 千葉市社会福祉協議会、千葉市成年後見支援センター
場 所	事務局 会議室
出 席 者	専門員3名
内 容	【Web開催】「日常生活自立支援事業 現任専門員研修会」契約締結審査会における審査ポイントや契約締結判定ガイドラインの活用について、日常生活自立支援事業の適正な実施の徹底について

日 時	令和3年9月27日(月)9:30～12:00
主 催	全国社会福祉協議会
場 所	事務局 会議室
出 席 者	専門員3名
内 容	【Web開催】「令和3年度日常生活自立支援事業 専門員実践力強化研修会Ⅰ」

日 時	令和4年2月7日(月)13:15～15:45
主 催	千葉県社会福祉協議会、千葉県後見支援センター 千葉市社会福祉協議会、千葉市成年後見支援センター
場 所	事務局 会議室
出 席 者	生活支援員2名、専門員3名
内 容	【Web開催】「第3回日常生活自立支援事業生活支援員・担当者研修」

日 時	令和4年2月8日(火)13:00～15:45
主 催	千葉県社会福祉協議会
場 所	事務局 会議室
出 席 者	専門員2名
内 容	【Web開催】「令和3年度千葉県CSW育成研修フォローアップ研修」

日 時	令和4年2月28日(月)9:00～11:30
主 催	千葉県社会福祉協議会、千葉県後見支援センター
場 所	事務局 録音室
出 席 者	専門員1名
内 容	【Web開催】「令和3年度市町村長申立て研修」制度の基礎、市町村長申立てについて

日 時	令和4年度3月29日(火)10:30～15:30
主 催	千葉県社会福祉協議会
場 所	事務局
出 席 者	専門員4名
内 容	【Web開催】「令和3年度成年後見制度利用促進体制整備のための千葉県域会議・セミナー」～尊厳のある本人らしい生活の継続と地域社会への参加を図るために～講師:中央大学教授 新井誠、基調説明、県内3市町村からの実践報告

5 成年後見支援センター

実施内容

佐倉市では、令和2年3月に「佐倉市成年後見制度利用促進基本計画」を策定し、これまでの成年後見支援センターを「地域連携ネットワーク」の軸となる「中核機関」として位置づけ、利用促進のための体制整備や機能強化が図られた。中核機関2年目として「機能の充実と強化」に努めた。

(ア) 成年後見制度の周知及び啓発

①正しい成年後見制度等の情報(広報紙、パンフレット等)をセンターに常備し、市民等へ配布 ②講演会の実施 ③ホームページの管理運営 ④関係機関への地域連携ネットワークへの参加促進、広報啓発 ⑤地域連携ネットワークへの新規参加者の発掘 ⑥地域連携ネットワーク構成員への研修等開催 ⑦成年後見制度利用促進基本計画に係る佐倉市の取り組みへの協力 ⑧佐倉市基本計画に沿った協議・立案会議の開催

成年後見制度講演会

開催日	10月24日(日)	参加者	18名
場 所	佐倉市社会福祉センター3F中会議室		
内 容	【講演】「成年後見制度の概要」「申立書の書き方について」 講師:菊池薫子氏(司法書士)		

地域連携ネットワークづくり研修会

開催日	7月16日(金)	参加者	18名
場 所	西部地域福祉センター 会議室		
内 容	1.講演「成年後見制度と入居者の財産管理、権利擁護について」講師:佐久間貴幸氏(弁護士) 2.シンポジウム テーマ「入居者の権利擁護～施設利用料滞納の利用者対応～」 3.佐倉市成年後見支援センターの業務紹介		

佐倉市と基本計画に沿った協議・企画立案会議(毎月開催)

(イ) 相談業務

①成年後見制度に関する情報提供(来所および電話、出張相談) ②成年後見人の業務、活動の概要説明 ③専門機関等の紹介 ④申立て支援、⑤権利擁護支援の必要性、成年後見制度・サービス等利用の検討(アセスメント・スクリーニングの実施) ⑥成年後見制度以外のサービス等への連携及び繋ぎ、⑦相談の記録と保管 ⑧受任調整会議の開催 ⑨専門相談の開催

相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
専門相談		4	6	5	6	—	6	5	5	3	3	3	46
一般相談	50	36	36	36	42	49	41	49	37	46	34	46	502
月別集計	50	40	42	41	48	49	47	54	42	49	37	49	548

出張説明会

開催日	6月27日(日)	参加者	10名
場 所	南部地域福祉センター		
内 容	佐倉市南部地域包括支援センター介護者教室「成年後見と遺言書」		
開催日	10月27日(水)	参加者	10名
場 所	佐倉市よもぎの園		
内 容	よもぎの園家族会勉強会「後見人制度についての勉強会」		

個別相談会の開催

No.	開催日	会 場 ・ 相 談 員	参加数
1	8月21日(土)	佐倉市社会福祉センター2F相談室 相談員:弁護士(オンライン相談)	4名
2	1月15日(土)	西部地域福祉センター相談室 相談員:弁護士	3名

受任調整会議及び運営会議の開催

第1回佐倉市成年後見支援センター(中核機関)受任調整会議 (5月7日(金))
第2回佐倉市成年後見支援センター(中核機関)受任調整会議及び第1回運営会議 (7月28日(水))
第3回佐倉市成年後見支援センター(中核機関)受任調整会議 (9月15日(水))
第4回佐倉市成年後見支援センター(中核機関)受任調整会議及び第2回運営会議 (2月10日(木))

(ウ)成年後見人等の支援

成年後見人等からの①相談対応 ②支援チーム編成支援 ③専門職等からの協力を受けられる支援 ④成年後見事務の支援や助言 ⑤研修会・集いの開催

成年後見制度後見人の集い

開 催 日	会 場	参 加 者
11月7日(日)	南部地域福祉センター	中 止

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、申立て支援をした親族への追跡調査と、親族後見人支援の周知に変更した。

(エ)市民後見人の支援及び活用業務

①佐倉市市民後見人名簿の登録及び管理、佐倉市への書類提出、②スキルアップ研修、③佐倉市市民後見人名簿登録者の成年後見に関する活動状況調査と継続掲載の意向確認、④名簿登録者への情報提供、⑤市民後見人選任に関し、佐倉市への市民後見人養成講座修了生の情報提供や受任調整会議への出席等についての協力、⑥実務相談等の市民後見人の後見活動支援、⑦市民後見人養成講座の開催に向けての調査・研究・企画

a 佐倉市市民後見人名簿登録者:8名

市民後見人選任中:1名、NPO法人市民後見人協会への後見人交代:2件(社協が監督人に選任)

b 市民後見人名簿登録者スキルアップ

・市民後見人名簿登録者スキルアップ研修

開催日	研修内容	参加数
6月28日(月)	「あさってから役立つ 生活支援員・法人後見支援員の活動と社協の目指す活動」	7名
11月中 3日間分散開催	講演会の映像を視聴する研修及び法人後見事業の動向 視聴後レポート提出	5名
令和3年3月中 レポート提出による開催	「成年後見制度の講演」(動画の視聴) 「市民後見人の活動事例(厚生労働省資料)」を読んで、今後の活動にどう活かせるか	8名

・日常生活自立支援事業生活支援員及び法人後見事業支援員としての活動

市民後見人養成講座実施に向けての調査・研究・企画

市川市市民後見人養成講座視察(市川市社会福祉協議会) 6月26日(土)

(オ)その他、委員会・会議等への出席

- ①佐倉市障害者総合支援協議会啓発権利擁護部会
- ②認知症対策検討会
- ③相談支援事業所との事例検討会
- ④佐倉市障害者差別解消支援地域協議会

6 生活困窮者自立支援事業

実施内容

佐倉市から生活困窮者自立支援事業を佐倉市社会福祉協議会、社会福祉法人生活クラブの2法人で佐倉市生活困窮者自立支援事業共同事業体として受託し、行政や地域包括支援センター、中核地域生活支援センター、相談支援事業所等、地区社協、民生委員、地域住民などと連携し、生活困窮者に対して家計、就労などの相談支援を包括的・継続的に行った。

令和3年度も前年度と同様に新型コロナウイルス感染拡大の長期化により、就労環境の変化に伴う休業等や収入減少や離職せざるを得ない状況となった方からの相談が継続して増えた。住居確保給付金や生活福祉資金の貸付相談に伴う相談も同様に続き、今年度は特例の貸付や給付金などの制度を利用して一度は就職が決まったが再び新型コロナウイルスの影響を受けて離職した方からの相談も多く見られた。また利用できる制度を全て利用したうえで就労状況が全く変わらず、今後の生活の見通しが立たないといった方々も見受けられ、公的な制度につなげることも多くなっているなか、そのような状況下においても公的な制度を利用せずに生活をしていきたいと強い希望がある方々もいる。

相談が長期化している方々は、相談者自身の個人的なことや家族関係、環境などが複雑に絡んでいるケースがほとんどであり、前年度の新型コロナウイルスの影響を受けた相談者の急増により、相談が多くなった分、今年度も引き続き相談が継続する方も増えていることで、多重問題ケースが増加している。

(ア) 相談ならびに支援状況

内 容		件 数	備 考
相談支援対応件数(延べ)		6,110	
うちひきこもり相談支援対応		820	
うち住居確保給付金対応		730	申請者21名 新規14件、延長11件、再延長5件 再々延長3件、再支給9件、変更2
うち総合支援資金自立相談対応		195	延長貸付17件、再貸付178件
新規相談受付件数		604	
うちひきこもり相談支援新規受付		20	
うち住居確保給付金新規受付		85	
支援決定(確認)件数(新規)		93	新規(うち緊急支援34件)
支援決定(確認)件数(再プラン)		56	
支援終結件数		98	
支援継続件数		29	
(内訳)	自立相談支援(新規+再プラン)	149	重複あり (新規+再プランケース)
	住居確保給付金	56	
	家計相談支援	71	
	就労準備支援	18	
	就労準備支援(訓練)	6	
	自立相談支援事業就労支援	90	

(イ) 自立支援計画支援調整会議の開催

回	日 時	場 所	出席者数	内 容
1	4月15日(木)	社会福祉センター 地下研修室	19名	新規ケース 6件(うち緊急支援1件) 評価ケース 14件(うち再プランケース4件)
2	5月20日(木)	社会福祉センター 地下研修室	16名	新規ケース 4件(うち緊急支援1件) 評価ケース 9件(うち再プランケース4件)
3	6月17日(木)	社会福祉センター 地下研修室	16名	新規ケース 9件(うち緊急支援0件) 評価ケース 11件(うち再プランケース5件)
4	7月15日(木)	社会福祉センター 地下研修室	15名	新規ケース 7件(うち緊急支援4件) 評価ケース 8件(うち再プランケース3件)
5	8月19日(木)	書面審査		新規ケース 8件(うち緊急支援3件) 評価ケース 11件(うち再プランケース1件)
6	9月16日(木)	書面審査		新規ケース 12件(うち緊急支援2件) 評価ケース 11件(うち再プランケース5件)
7	10月21日(木)	社会福祉センター 地下研修室	17名	新規ケース 11件(うち緊急支援5件) 評価ケース 11件(うち再プランケース6件)
8	11月18日(木)	社会福祉センター 地下研修室	16名	新規ケース 9件(うち緊急支援2件) 評価ケース 22件(うち再プランケース11件)
9	12月16日(木)	社会福祉センター 2階会議室	18名	新規ケース 8件(うち緊急支援4件) 評価ケース 9件(うち再プランケース5件)
10	1月20日(木)	書面審査		新規ケース 7件(うち緊急支援6件) 評価ケース 17件(うち再プランケース6件)
11	2月17日(木)	書面審査		新規ケース 5件(うち緊急支援4件) 評価ケース 18件(うち再プランケース4件)
12	3月17日(木)	書面審査		新規ケース 9件(うち緊急支援2件) 評価ケース 14件(うち再プランケース2件)

※「評価ケース」とは、定期的な支援内容の確認や支援の継続等を検討するケース

(ウ) 視察、派遣、取材対応

対応種別	日 時	場 所	対 応 内 容
派遣	7月14日(水)	ミレニアムセンター佐倉	佐倉地域包括支援センター主催 佐倉ケアマネジャー勉強会
派遣	9月15日(水)	南部地域福祉センター	佐倉市南部地域包括支援センター主催 令和3年度 介護予防のための地域ケア会議

(エ) 児童虐待防止ネットワーク会議

回	日 時	場 所	会議名(主催)
1	5月13日(木)	2号館 会議室	児童虐待防止ネットワーク実務者会議 進行管理会議(こども家庭課)
2	7月19日(月)	社会福祉センター 中会議室	児童虐待防止ネットワーク実務者会議 進行管理会議(こども家庭課)
3	10月29日(金)	社会福祉センター 小会議室	児童虐待防止ネットワーク実務者会議 進行管理会議(こども家庭課)

(オ)子どもの貧困問題対策ワーキンググループ

1	7月1日(木)	議会棟 第2委員会室	・子どもの貧困に関する情報について - 子ども食堂について ・ヤングケアラーについて - 国の動向 ・子供の貧困 「千葉県子どもの貧困対策推進会議」 - 佐倉市における子どもの関連データのまとめについて
2	10月19日(火)	1号館6階 第1会議室	子どもの貧困対策計画の策定するため 検討項目 ・生活実態調査の調査票項目について ・資源量調査について

(カ)家庭等における虐待・暴力対策ネットワーク会議

1	10月19日(火)	社会福祉センター3階 中会議室	・こども家庭課、高齢者福祉課、障害福祉課からの実績報告 ・家庭内等における虐待・暴力対策ネットワーク関係機関アンケート結果について ・事例報告
---	-----------	-----------------	---

(キ)印旛地域生活困窮者自立支援事業ネットワーク協議会会議関係

<総会>

回	日 時	場 所	内 容
1	10月1日(金)	書面評決	<検討事項> 議案第1号 令和2年度事業報告及び決算報告(案)について 議案第2号 会則の変更(案)について 議案第3号 令和3年度事業計画及び収支予算(案)について 議案第4号 役員の変更(案)について

<研修会>

回	日 時	場 所	内 容
1	12月18日(土)	ZOOMによるWEB研修	ひきこもり支援～出会う前に支援者が知っておきたい、ひきこもる人達への支援～ 講師 特定非営利活動法人パノラマ 代表理事 石井 正宏 氏
2	1月27日(木)	ZOOMによるWEB研修	主任相談支援員情報交換会 ～令和2年度と令和3年度の相談状況、コロナ後の相談支援や就労支援の課題～

(ク)各種研修

回	日 時	場 所	内 容
1	1日目 6月21日(月) 2日目 6月25日(金)	1日目 オンラインによる(ZOOMを利用) 2日目 千葉県庁中庁舎10階大会議室	千葉県生活困窮者自立支援制度初任者研修
2	9月～11月	動画配信 ①9月中旬 ②10月中旬 ③9月上旬～ ライブ配信 ①11月26日 ②11月30日 ③10月8日	生活困窮者自立支援制度人材養成研修 ①相談支援員養成研修 ②就労支援員・就労準備支援事業従事者養成研修 ③家計改善支援事業従事者養成研修
3	1日目 11月25日(木) 2日目 12月1日(水) 3日目 12月7日(火)	1日目 オンラインによる(ZOOMを利用) 2日目 千葉県庁本庁舎 5階大会議室 3日目 千葉県自治体職員福祉センター 4階会議室	千葉県生活困窮者自立支援制度従事者研修
4	11月～1月	動画配信 11月中旬 ライブ配信 1月18日	生活困窮者自立支援制度人材養成研修 令和3年度 テーマ別(ひきこもり状態にある者への支援について)研修

(ケ)会議等参加

回	日 時	場 所	内 容
1	11月20日(土)	ZOOMによる会議・動画配信	第8回生活困窮者自立支援全国研究交流大会

(コ)広報

本事業を幅広く周知すること、活用促進を目的として、民生委員児童委員協議会、行政関係部署、店舗等にチラシの周知依頼を行った。またサポーター企業を開拓するため、「サポーター企業募集」チラシを作成し、佐倉商工会議所の協力を得て、会員への広報紙とともに配布していただいた。また、チラシを企業訪問に積極的に行った。

(サ)民生委員児童委員協議会への制度周知

開催日	地区民児協	会 場	内 容
4月	理事会	社会福祉センター	チラシによる周知

(シ)調査

回	調査名	調査依頼元
1	単身中高齢者に対する相談支援の現状と課題に関する調査	東京都健康長寿医療センター研究所
2	コロナ禍における生活困窮者支援の状況に関する調査票(A票:自立相談支援機関を受託している都道府県・指定都市社協、市区町村社協)	社会福祉法人全国社会福祉協議会地域福祉部
3	多様な就労支援の確保のための労働施策との連携のあり方に関する調査研究事業アンケート調査	株式会社日本能率協会総合研究所 福祉・医療・労働政策研究部
4	生活困窮者自立支援システム相談支援記録に関する分析	厚生労働省社会援護局地域福祉課 生活困窮者自立支援室
5	生活困窮者自立支援制度における就労訓練事業利用状況のアンケート調査	岡山県立大学 保健福祉学部
6	若年女性への支援に関するアンケート調査	厚生労働省

(ス)仕事と暮らしの出張相談会

回	日 時	場 所	相談件数
1	7月21日(水)	西部地域福祉センター相談室	相談者2名(新規0名、継続相談者2名)
2	11月17日(水)	西部地域福祉センター相談室	相談者2名(新規0名、継続相談者2名)
3	3月16日(水)	西部地域福祉センター相談室	相談者2名(新規1名、継続相談者1名)

(セ)学習・生活支援事業

学習支援活動は、家庭での学習環境や習慣が整っていない子たちもいるため、コロナ禍でも必要とされる事業であり、ボランティア団体と活動をするにあたり、懇談会や個別に話し合いをおこない、団体によっては休止や対象者の限定、入れ替え制の対応、活動時は感染予防に気をつけておこなってきた。学習支援活動団体懇談会は3回実施し、活動をおこなう中での課題について、意見交換をおこなった。各団体で受験に関わった中学3年生10名については、9人の高校進学が決定した。1人は不登校だが、学習支援に参加しており、今年度受験はせず、次年度も引き続き学習支援には参加していく。また、当事業相談者からは、4名の児童生徒が判定会議を経て学習支援団体利用へつながっている。

a. 佐倉市内学習支援活動団体懇談会（参加団体：学習支援6団体、関係行政機関）

回	日 時	場 所	内 容
1	7月30日(金)	社会福祉センター 地下研修室	(1)学習支援活動の状況報告 (2)意見交換 緊急事態宣言期間中の学習支援活動について
2	12月17日(火)	社会福祉センター 地下研修室	(1)学習支援活動の状況報告 (2)意見交換 各団体からの課題 ・発達障害、発達障害が疑われる子たちの支援について ・学習支援に来るアフガニスタン世帯の言葉や生活の課題について
3	3月22日(火)	社会福祉センター 地下研修室	(1)学習支援活動の状況報告 (2)意見交換 コロナ禍での今年度の活動を振り返って

(ソ)自立相談支援(ひきこもり)

a. 社会参加支援（社会参加支援活動の実践状況）

No.	内 容
1	対象者に対しての外出支援：5/13京成バラ園、7/29市立美術館、10/6川村美術館庭園 調理体験、洗車作業、パソコン入力作業開始。
2	対象者に対しての外出支援：5/7臼井城址公園、6/11佐倉城址公園、8/17市防災センター 正月飾り作成(グループ作業)、洗車作業
3	対象者と就労継続支援B型へ見学同行。
4	対象者と就労継続支援A型へ見学同行。
5	対象者と就労移行支援へ見学同行。
6	対象者と就労移行支援へ見学同行し通所開始。
7	ユニバーサル就労を利用開始。就労継続支援B型へ見学同行。
8	対象者と1対1で洗車作業を開始。
9	対象者と1対1で洗車・パソコン作業を開始。
10	対象者と1対1で洗車・パソコン入力作業・調理体験を開始。
11	介護初任者研修を終了。就職活動を開始。
12	介護初任者研修を終了後、会社見学同行、面接同行、採用決定。約1年間継続中。
13	洗車・パソコン入力作業を継続し、市役所の清掃会社へ短時間就労決定。
14	地区社協サービス利用後市役所の清掃会社へ短時間就労。その後物流倉庫へ就労決定し約半年間継続中。

b. ひきこもり家族の会

回	日 時	場 所	内 容
1	11月26日(金)	西部地域福祉センター 研修室	講師 精神保健福祉士 安藤 知行 様 親なき後の生活

(タ)新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金給付事業相談委託事業

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金給付決定者から、毎月とどく生活状況の報告をもとに希望に応じて相談支援を行った。

支給決定者	104人
再支給決定者	32人

報告件数

月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	8	65	79	46	30	25	60	68	82	463

7 介護人材確保対策事業

実施内容

高齢者が住み慣れた地域で必要とする福祉サービスを利用できる地域社会を目指し、佐倉市社会福祉施設協議会の協力のもと、福祉を担う人材育成を目的に介護職員初任者研修を実施した。受講者20名全員が修了し、介護知識・技術の向上ならびに新たな人材の市内福祉施設への就職に繋がった。
(会場:佐倉市社会福祉センター地下研修室)

講座名		時間数	開講日	時間	講師所属等	講師
開講式・オリエンテーション		—	令和3年	9:30～9:50	—	—
1-1	多様なサービスの理解	2	11/9(火)	9:50～10:50 11:00～12:00	特別養護老人ホーム 佐倉白翠園	竹内 淳
1-2	介護職の仕事内容や働く現場の理解	2	11/9(火)	13:00～14:00 14:10～15:10		
2-1	人権と尊厳を支える介護(1)	3	11/11/(木)	9:00～10:30 10:40～12:10	佐倉市社会福祉協議会	杉山 美枝子
2-1	人権と尊厳を支える介護(2)	3	11/16/(火)	9:00～10:30 10:40～12:10		
2-2	自立に向けた介護	3	11/16/(火)	13:10～14:40 14:50～16:20	特別養護老人ホーム佐倉白翠園	小笠原 健
3-1	介護職の役割、専門性と多職種との連携	1.5	11/18(木)	9:00～10:30	特別養護老人ホームゆたか苑	内川 浩明
3-2	介護職の職業倫理	1.5	11/18(木)	10:40～12:10		
3-3	介護における安全の確保とリスクマネジメント	1.5	11/30(火)	9:00～10:30	佐倉市社会福祉協議会	荒井 裕美子
3-4	介護職の安全	1.5	11/30(火)	10:40～12:10		
4-1	介護保険制度	3	11/25(木)	13:20～14:50 15:00～16:30	千葉県社会福祉士会	岡本 崇広
4-2	医療との連携とリハビリテーション	3	11/25(木)	9:00～10:30 10:40～12:10	千葉県リハビリテーションセンター	田中 康之
4-3	障害者福祉制度及びその他制度	3	12/2(木)	9:00～10:30 10:40～12:10	千葉県社会福祉士会	岡本 崇広
5-1	介護におけるコミュニケーション	3	12/2(木)	13:10～14:40 14:50～16:20	社会福祉法人愛光	近藤 美貴
5-2	介護におけるチームコミュニケーション	3	12/7(火)	9:00～10:30 10:40～12:10	社会福祉法人愛光	近藤 美貴
6-1	老化に伴うこころとからだの変化と日常	3	12/16(木)	9:00～10:30 10:40～12:10	佐倉市志津北部地域包括支援センター	梅崎 由貴
6-2	高齢者と健康	3	12/9(木)	9:00～10:30 10:40～12:10	宍戸内科医院	宍戸 智子
7-1	認知症を取り巻く状況	1.5	12/9(木)	13:10～14:40	佐倉市志津南部地域包括支援センター	高橋 一江
7-2	医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1.5	12/9(木)	14:50～16:20		
7-3	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	1.5	12/14(火)	9:00～10:30	佐倉市佐倉地域包括支援センター	松尾 徳子
7-4	家族への支援	1.5	12/14(火)	10:40～12:10		

8-1	障害の基礎的理解	1	12/7(火)	13:10～14:10		
8-2	障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかり支援等の基礎的知識	1	12/7(火)	14:20～15:20	さくら総合発達支援センター ホープ	塚本 淳智
8-3	家族の心理、かかり支援の理解	1	12/7(火)	15:30～16:30	障害者相談支援事業所レイ ンボー	新井 真由美
9-1	介護の基本的な考え方	2	12/16(木)	13:10～14:10 14:20～15:20	成田国際福祉専門学校講師	釧地 平子
9-3	介護に関するからだのしくみの基礎的理解	5	12/23(木)	9:00～10:00 10:10～11:40 12:40～13:40 13:50～15:20	宍戸内科医院	宍戸 智子
9-2	介護に関するこころのしくみの基礎的理解	5	12/21(火)	9:30～10:30 10:40～12:10 13:10～14:10 14:20～15:50	地域生活支援センターレイ ンボー	鎌田 大輔
9-4	生活と家事	5	1/6(木)	9:30～10:30 10:40～12:10 13:10～14:10 14:20～15:50	佐倉市社会福祉協議会	寺田 清美
9-5	快適な居住環境整備と介護	3	1/11(火)	13:00～16:10	千葉県リハビリテーションセ ンター	田中 康之
9-7	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護(1)	5	1/18(火)	9:30～10:30 10:40～12:10 13:10～14:10 14:20～15:50	特別養護老人ホームさくらの 丘 特別養護老人ホーム志津 ユウカリ苑	村本 二郎 石田 俊之
9-7	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護(2)	6	1/20(木)	9:00～10:30 10:40～12:10 13:10～14:40 14:50～16:20	特別養護老人ホームさくらの 丘 特別養護老人ホーム志津 ユウカリ苑	村本 二郎 石田 俊之
9-6	整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	5	2/22(火)	9:30～10:30 10:40～12:10 13:10～14:10 14:20～15:50	佐倉市社会福祉協議会	寺田 清美 赤坂 葉子 荒井 裕美子
9-8	食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	5	1/25(火)	9:30～10:30 10:40～12:10 13:10～14:10 14:20～15:50	特別養護老人ホーム佐倉白 翠園 佐倉市社会福祉協議会	安宅 香織 寺田 清美
9-9	入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	5	1/27(木)	9:30～10:30 10:40～12:10 13:10～14:10 14:20～15:50	特別養護老人ホームさくら苑 成田国際福祉専門学校講師 染井野ヒルズひまわりの里	飯塚 純子 釧地 平子 佐藤 園子
9-10	排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	5	2/1(火)	9:30～10:30 10:40～12:10 13:10～14:10 14:20～15:50	特別養護老人ホームはちす 苑 特別養護老人ホームユウカリ ゆうとの杜	梶 直芳 伊東 洋詩
9-11	睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護について	4.5	2/3(木)	9:00～10:30 10:40～12:10 13:10～14:40	特別養護老人ホームときわ の杜 成田国際福祉専門学校講師	小山 美紀 釧地 平子
9-12	死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	1.5	11/30(火)	13:10～14:40	宍戸内科医院	宍戸 智子

9-13	介護課程の基礎的理解	2	2/8(火)	9:00～10:00	ケアプランボンド	高梨子 淳一
				10:10～11:10		
9-14	総合生活支援技術演習	4	2/8(火)	11:20～12:20	成田国際福祉専門学校講師	釧地 平子
				13:20～14:50		
				15:00～16:30		
9-14	総合生活支援技術演習	6	2/10(木)	9:00～10:30	ケアプランボンド	高梨子 淳一
				10:40～12:10		
				13:10～14:40	成田国際福祉専門学校講師	釧地 平子
				14:50～16:20		
10-1	振り返り	2	2/24(木)	9:00～10:00	ケアプランボンド	高梨子 淳一
				10:10～11:10		
10-2	就業への備えと研修修了後における継続的な研修	2	2/24(木)	11:20～12:20		
				13:20～14:20		
	効果測定	1	2/24(木)	14:30～15:30		
	施設実習代替講習 (補習及び効果測定)	8	3/1(火)	9:00～18:00	佐倉市社会福祉協議会	杉山 美枝子
	閉講式(修了証書授与等) 市内社会福祉施設就職説明会		3/3(木)	10:00～12:00		

授業時間数 131

(9)基金

実施内容

自主財源の確保を目的として、福祉基金を設置し、趣旨に賛同して寄せられた寄附金により、資金造成を行っている。運用に関しては、定期預金は期間を1年、2年に分散しての預入れ、債券は30年の公債を保有し、各事業実施のため福祉基金の取り崩し及び基金から生ずる利息の確保に努めた。

菊地久治勉学奨励基金、元気に育て子ども基金、稲垣成こ勉学奨励基金は取り崩して、奨学福祉事業、生活困窮世帯子ども支援事業、終末ケア・終活支援事業の各事業費に充てた。また新しく寄附が寄せられ、福得孝養基金を設置した。次年度の事業実施に活用する。

1 福祉基金

基金総積立額	159, 071, 567円	
令和3年度寄附金額	1, 076, 428円	
配 分 額	14, 296, 272円	
内 訳	法人運営	12, 721, 272円
	地域福祉ネットワーク	1, 575, 000円

2 菊地久治勉学奨励基金

基金総積立額	112, 593, 800円	
勉学奨励金配分額	7, 334, 000円	
内 訳	勉学奨励奨学金として	7, 084, 000円
	勉学奨励一時金として	250, 000円

3 元気に育て子ども基金

基金総積立額	35,618,388円
令和3年度寄附金額	21,498,871円
子ども支援金配分額	925,000円

4 稲垣成こ勉学奨励基金

基金総積立額	16,339,905円
令和3年度積立金額	23,100円

5 福得孝養基金

基金総積立額	12,000,000円
令和3年度寄附金額	12,000,000円
令和3年度積立金額	12,000,000円

(10) 共同募金配分事業

1 歳末たすけあい運動

実施内容

経済的に支援が必要な在宅生活者が明るい正月を迎えられよう、支援金を贈るとともに、佐倉市内で生活に困窮する方を年間を通じて支援する活動団体への助成金による支援のため、「歳末たすけあい募金配分内容検討委員会」において、コロナ禍のため書面会議により検討・協議を経て、配分額等を決定した。
対象者の確認、支援金の配分は、民生委員・児童委員協議会の協力で実施し、歳末たすけあい助成金を募集し、地域配分を行った。

(ア) 歳末たすけあい募金配分内容検討委員会

回数	開催日	会場	内 容
第1回	5月12日(水) リモート会議	リモート	<報告事項> ・令和2年度 歳末たすけあい募金・配分実績について <協議事項> ・副委員長の選任について ・令和3年度 歳末たすけあい運動配分内容の検討について
第2回	7月12日(月) リモート会議	リモート	<報告事項> ・前回委員会のふりかえり ・令和2年度歳末たすけあい募金配分計画について <協議事項> ・令和3年度 歳末たすけあい募金助成金の選考について ・令和3年度 歳末たすけあい募金配分計画について

(イ) 民生委員・児童委員協議会での歳末たすけあい運動の協力依頼

	理 事 会	単位地区定例会
9月	配分対象者の確認(調査)依頼	同左
10月	配分対象者の確認(調査)台帳回収	同左
11月	配分対象者「確認票」の配布	同左
12月	配分対象者への「在宅支援金」交付・「受領簿」の配布	同左
1月	在宅支援金「受領簿」回収と戻入金受付・不在者引継ぎ対応	同左
3月	歳末たすけあい運動事業報告(書面)	同左

(ウ) 在宅支援金の配分実績

(単位:円)

区分	種 別	対象世帯数	金額	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
				対象 世帯数	金額	対象 世帯数	金額	対象 世帯数	金額
要 保 護 世 帯	一般低所得世帯	単身	8,000	14	112,000	13	130,000	15	150,000
		家族あり	11,000	25	275,000	18	216,000	12	144,000
		家族(子あり)	13,000	116	1,508,000	112	1,568,000	108	1,512,000
	母子・父子世帯	子1人	11,000	131	1,441,000	143	1,716,000	134	1,608,000
		子2人以上	14,000	206	2,884,000	205	3,075,000	214	3,210,000
	ひとり暮らし高齢者世帯		8,000	146	1,168,000	166	1,660,000	158	1,580,000
	ねたきり高齢者世帯	単身	8,000	0	0	0	0	0	0
		家族あり	11,000	2	22,000	3	36,000	3	36,000
	心身障がい児・者世帯	単身	8,000	5	40,000	6	60,000	7	70,000
		家族あり	11,000	10	110,000	13	156,000	16	192,000

	罹災世帯	単身	8,000	0	0	0	0	1	10,000
		家族あり	11,000	0	0	0	0	0	0
合 計				655	7,560,000	679	8,617,000	668	8,512,000

(エ) 歳末たすけあい募金助成金

通年事業	内 訳	金 額
年間を通しての生活困窮者等への活動助成金	50,000円×19団体	950,000円
	30,000円×2団体	60,000円
	20,000円×1団体	20,000円
	合計 22団体	1,030,000円

(オ) 配分合計

在 宅 支 援 金	655世帯	7,560,000
年間を通しての生活困窮者等への活動助成金	22団体	1,030,000
事 務 費		382,667
配 分 合 計	677世帯・団体	8,972,667

(カ) 募金実績

歳末たすけあい募金目標額	9,420,000円
歳末たすけあい募金実績額	8,761,540円

(キ) 次年度への繰越金

令和2年度末繰越金	8,475,917円
令和3年度募金実績	8,761,540円
令和3年度配分実績	8,972,667円
次年度への繰越金(令和3年度末)	8,264,790円

2 児童福祉事業

(ア) 交通遺児見舞金・勉学奨励金・激励金・図書カードの交付

実施内容

陸上交通事故により父親または母親を失った18歳未満の交通遺児(世帯)を対象世帯とし、調査を行い該当する世帯に対し担当地区民生委員の協力を得て見舞金、勉学奨励金・激励金の交付を行い交通遺児世帯の激励を行った。	
交通遺児該当世帯	なし
見舞金 交付金額	なし
勉学奨励金 交付金額	なし
激励金 交付金額	120,000円

(11) 共同募金事業への協力

実施内容

共同募金事業について、市民の理解を求めるとともに、たすけあい精神を高め、市民の善意を結集した募金運動を千葉県共同募金会佐倉市支会と協力して行う。募金活動は、10月1日から、各自治会・町会・区の協力による戸別募金、法人・学校・職域・イベント等で実施する。駅頭や大型店舗等において、ボランティアグループ及び個人・地区社協・学校等の協力による街頭募金はコロナ禍のため中止。

(ア) 赤い羽根募金

募金目標額 14,160,000円 募金実績額 13,417,942円

(イ) 歳末たすけあい募金

募金目標額 9,420,000円 募金実績額 8,761,540円

(ウ) 災害義援金

令和3年大雨災害義援金

令和3年7月19日(月)～令和4年3月31日(木)

(エ) 資材発送

9月に地区代表者に対して協力依頼とともに赤い羽根募金資材を発送する作業に協力した。また、歳末たすけあい募金資材については、11月の資材発送作業に協力した。

(オ) 赤い羽根共同募金説明会

4月に地区代表者に対して共同募金運動についての説明、協力依頼を行った。また、自治会あてに送付した資料にて共同募金運動についての説明、協力依頼を行った。

開催日時	会場	対象者
2021/4/17 10:00～11:00	中央公民館ホール	新任地区代表者(希望者)
2021/4/17 14:00～15:00	中央公民館ホール	新任地区代表者(希望者)

(カ) 共同募金しおりづくり

コロナ禍のため中止

(キ) 佐倉市オリジナル回覧作成

共同募金運動をすすめる上で、佐倉市内で寄せられた募金がどのように活用されているのかを、その流れとともに昨年の実績を綴った佐倉市オリジナルの回覧物を6,000枚作成し、自治会・町内会等へ配布した。また、学校、法人・団体へも協力依頼とともに配布を行った。

(ク) 佐倉市オリジナルDVDの活用

地区代表者からの要望を受け、赤い羽根共同募金の佐倉市内での使われ方をわかりやすく説明するために、平成23年度からオリジナルDVDを作成し、赤い羽根共同募金の周知や講座、街頭募金ボランティア説明会等で活用している。今年度も広報啓発に利用を予定していたが説明会は中止。

(12) 居宅介護

1 障害福祉サービス事業

障害者総合支援法に基づき、身体障がい者(児)、知的障がい者(児)、精神障がい者にホームヘルパーを派遣し、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、生活全般にわたる援助を行った。*令和3年度は、新型コロナウイルス感染症のため、同行援護サービス利用者の外出の機会が少なくなったため、利用回数が減となった。

活動実績(地域生活支援事業、生活サポート事業、同行援護事業を含む)

月	利用者数(人)			活動回数(回)		
	3年度	2年度	元年度	3年度	2年度	元年度
4月	58	56	71	360	448	546
5月	57	52	68	333	397	566
6月	59	58	75	345	452	550
7月	53	59	70	326	460	599
8月	55	53	66	318	350	563
9月	54	52	68	332	390	546
10月	61	58	68	333	406	572
11月	61	56	69	333	383	610
12月	58	59	67	332	369	581
1月	58	48	72	289	309	578
2月	54	47	69	277	310	562
3月	56	51	64	325	368	575
合 計	684	649	827	3,903	4,642	6,848
月平均	57	54	69	325	387	571

2 訪問介護員派遣事業

公的制度に該当しない介護又は支援を必要とする高齢者、障がい者、児童等の家庭に訪問介護員を派遣し、自立した日常生活を営むことができるよう、生活全般にわたる援助を行った。
*令和3年度は、新型コロナウイルス感染症のため、遠方の家族が対応できない通院介助などの急な依頼や、薬取りなどの依頼があった。

活動実績

月	利用者数(人)			活動回数(回)		
	令和3年度	令和2年	令和元年	令和3年度	令和2年	令和元年
4月	4	2	5	11	2	17
5月	1	2	4	2	2	15
6月	4	4	4	5	4	13
7月	7	6	3	9	6	16
8月	5	7	4	19	7	16
9月	4	3	3	19	3	15
10月	6	5	6	22	5	31
11月	5	6	4	20	6	13
12月	6	7	4	18	7	9
1月	5	5	5	8	5	11
2月	3	3	3	3	3	6
3月	2	4	2	2	6	12
合 計	52	54	47	138	56	174
月平均	4	5	4	12	5	15

3 相談支援事業

指定計画相談支援				指定障害児童相談		
利用者数(人)						
月	令和3年度	令和2年	令和元年	令和3年度	令和2年	令和元年
4月	3	4	4			0
5月	2	4	4			0
6月	3	2	1			0
7月	1	2	2			2
8月	0	4	4			0
9月	3	1	0			0
10月	1	4	9			0
11月	5	4	5			0
12月	2	1	1			0
1月	2	1	3			0
2月	1	2	0			0
3月	1	4	5			0
合計	24	33	38	0	0	2
月平均	2.0	2.8	3.2	0.0	0.0	0.2

(13)介護保険

1 訪問介護事業

介護保険制度に基づく訪問介護事業を適正に実施するとともに、質の高い介護サービスを提供するため人材育成等を行った。尚、令和2年度から、人員体制が3.5人から2.5人に減ったが、実績は高く維持できた。

(ア)訪問介護活動実績

月	利用者数(人)			活動回数(回)		
	令和3年度	2年度	元年度	令和3年度	2年度	元年度
4月	21	18	24	202	144	232
5月	21	18	21	200	171	214
6月	21	17	21	218	190	209
7月	21	20	20	205	212	223
8月	21	21	20	204	206	223
9月	21	24	21	209	255	220
10月	22	24	20	217	258	199
11月	22	23	19	208	247	159
12月	24	23	17	209	214	141
1月	22	22	17	182	190	137
2月	20	23	17	179	199	142
3月	20	19	18	213	205	156
合 計	256	252	235	2446	2491	2255
月平均	21.3	21.0	19.6	203.8	207.6	187.9

(イ)総合事業活動実績

月	利用者数(人)			活動回数(回)		
	令和3年度	2年度	元年度	令和3年度	2年度	元年度
4月	24	21	27	157	129	168
5月	24	21	28	130	128	177
6月	25	23	28	148	145	162
7月	25	25	30	152	167	185
8月	27	25	30	162	150	185
9月	29	24	29	166	137	168
10月	29	23	26	166	143	160
11月	29	25	28	173	134	160
12月	29	24	27	180	147	155
1月	28	24	28	155	143	146
2月	27	24	27	154	138	151
3月	26	25	22	170	167	136
合 計	322	284	330	1913	1728	1953
月平均	26.8	23.7	27.5	159.4	144.0	162.8

介護度別利用者内訳

要介護状態区分	利用 者 数 (名)		
	令和4年3月	令和3年3月	令和2年3月
事業対象者	0	2	3
要支援1	11	9	8
要支援2	14	15	11
要介護1	7	7	8
要介護2	6	7	7
要介護3	5	3	1
要介護4	1	2	2
要介護5	1	0	0
合 計	45	45	40

(エ) 訪問介護員

a 訪問介護員登録人数 3月31日在籍者数

令和3年度	23名
令和2年度	32名
令和元年度	35名(同行援護従事者3名含む)

b 訪問介護員会議・研修

会議・研修	開 催 日	内 容	参加者
全 体 会	4月11日(日)	雇入通知書交付・令和2年度実績報告 令和3年度事業について	30
会議・研修会	4月11日(日)	個別研修計画立案 法令遵守・倫理について	30
会議・研修会	5月16日(日)	制度改正・訪問介護員の心得	32
会議・研修会	6月13日(日)	感染症	32
会議・研修会	7月11日(日)	ヒヤリハット	31
会議・研修会	8月22日(日)	虐待	30
会議・研修会	9月12日(日)	災害	30
会議・研修会	10月17日(日)	困難ケース・技術指導	28
会議・研修会	11月14日(日)	プライバシー保護	25
会議・研修会	12月12日(日)	接遇	25
会議・研修会	1月16日(日)	事故防止 ※コロナ感染症蔓延の為に中止し、資料を配りレポート提出 に切り替え、対応する	
会議・研修会	2月13日(日)	クレーム対応 ※コロナ感染症蔓延の為に中止し、資料を配る	
会議・研修会	3月13日(日)	認知症 ※コロナ感染症蔓延の為に中止し、資料を配りレポート提出 に切り替え、対応する	
		合計	294

2 居宅介護支援事業

令和3年4月に人員体制が2.5人から2.0人と更に体制が減った。コロナ過において利用を控える方もおり、サービスについても本当に必要なのか考えて利用するようになった。要介護4と5の人は入所される方が多く、在宅の利用者は減る傾向にあり、要介護3の人については入所待ちをしている方が多い。認定調査に関してはコロナ過で、延長申請の希望者が多く、佐倉市への申請件数が少なかったため、委託されない状況が続いている。

	令和3年度	令和2年度	令和元年度	30年度
4月	62人	67人	77人	70人
5月	58人	67人	75人	25人
6月	56人	67人	76人	28人
7月	55人	64人	76人	9人
8月	55人	66人	71人	16人
9月	53人	71人	79人	68人
10月	54人	71人	79人	71人
11月	57人	71人	78人	71人
12月	56人	70人	77人	73人
1月	51人	71人	76人	71人
2月	50人	68人	75人	70人
3月	51人	68人	75人	71人
合計	658人	821人	914人	643人
月平均	55人	68人	76人	54人

介護予防支援業務活動実績

	令和3年度	令和2年度	令和元年度	30年度
4月	27人	26人	43人	34人
5月	26人	28人	45人	34人
6月	27人	28人	51人	34人
7月	27人	28人	52人	33人
8月	27人	27人	52人	33人
9月	29人	29人	50人	35人
10月	30人	31人	50人	37人
11月	30人	31人	47人	38人
12月	31人	31人	47人	40人
1月	30人	30人	48人	40人
2月	29人	30人	43人	40人
3月	27人	32人	41人	41人
合計	340人	351人	569人	439人
月平均	28人	29人	47人	37人

介護度別利用者内訳

要介護状態区分	令和3年度	令和2年度	令和元年度	30年度
事業対象者	2人	2人	2人	1人
要支援1	9人	11人	12人	17人
要支援2	20人	19人	27人	24人
要介護1	20人	26人	23人	18人
要介護2	16人	17人	29人	25人
要介護3	11人	18人	12人	15人
要介護4	3人	6人	7人	8人
要介護5	1人	1人	4人	5人
合 計	82人	100人	116人	113人

要介護・要支援認定調査業務活動実績

	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
4月	0件	0件	6件	0件
5月	0件	0件	8件	0件
6月	0件	0件	6件	0件
7月	0件	0件	7件	2件
8月	0件	0件	6件	4件
9月	0件	1件	8件	2件
10月	0件	0件	7件	0件
11月	0件	0件	7件	1件
12月	0件	0件	6件	4件
1月	0件	0件	3件	5件
2月	0件	0件	6件	7件
3月	0件	0件	7件	5件
合 計	0件	1件	77件	70件
月平均	0件	0件	6件	5件

2 公益事業

(1) 指定管理事業

1 西部地域福祉センターの管理運営

実施内容

佐倉市との間で締結した佐倉市西部地域福祉センターの管理に関する協定書に基づき、(指定期間：平成31年度から令和5年度まで)適切な管理運営業務を実施した。地域住民が地域福祉活動を推進する施設として、その場と機会を提供するとともに福祉活動の拠点として、志津、志津南、ユーカリが丘及び西志津地区社協の事務局を設置している。また、ボランティアセンター、研修、相談等の施設を確保し、ボランティアセンター機能の充実を図ることにより地域福祉の増進に努めた。

令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言の発令を受け、風呂については、1月25日から3月22日までの2ヶ月間が利用休止となった。また、企画事業についてはコロナ感染拡大防止の観点から殆どの実施を取りやめた。今年度は年間を通じてコロナ禍の状況が続いたため、施設利用者数が大幅に減少する結果となった。

(ア) 利用状況

人員配置: センター長1人、福祉活動専門員1人、管理員7人

室 名	3年度		2年度		元年度	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
会議室	783	25,245	537	19,215	1,286	29,940
研修室	251	2,679	253	3,746	444	18,021
娯楽室	—	1,110	—	8,692	—	8,692
和 室	—	255	—	231	—	1,272
浴 室(男)	—	3,334	—	1,446	—	6,294
浴 室(女)	—	1,551	—	675	—	2,479
浴 室(計)		4,885		2,121		8,773

(イ) 相談事業

弁護士による無料法律相談

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター 相談室
相談者数	
内 容	

知的障がい児(者)支援相談

日 時	4/9、5/14、6/11、7/9、8/13、9/10、10/8、11/12、12/10、1/14、2月中止、3/11 第2金曜日 10時～15時
会 場	西部地域福祉センター 相談室
相談者数	4月1名、5月0名、6月0名、7月0名、8月0名、9月1名、10月0名、11月2名、 12月0名、1月1名、(2月コロナ蔓延防止の為中止)、3月1名

相続・遺言・成年後見講演&相談会

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター 会議室 相談室
参加者数	
内 容	公益財団法人家庭問題情報センター千葉ファミリー相談室の協力を得て、相続・遺言・成年後見について学ぶ講演会・相談会を開催予定であったが、コロナ禍のため中止した。

行政書士の悩みごと相談会

日 時	6/27、7/25、8/22、9/26、10/24、11/28、12/26、1/23、2/27、3/27 第4日曜日 13時～16時
会 場	西部地域福祉センター 相談室
相談者数	6月0名、7月0名、8月・9月電話対応0名、10月1名、11月1名、12月1名、1月1名、2月1名、3月1名

(ウ) 高齢者交流事業

笑いヨガ・ミュージック

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター 会議室
参加者数	
内 容	主に高齢者を対象として、心身の健康増進及び認知症予防に効果のある「笑い」とミュージックを組み合わせた事業を実施した。ボランティアグループ「笑いヨガ・ミュージック」を講師として、笑って歌える歌20曲以上を準備し、参加者全員で合唱を行った。歌に合わせて簡単な楽器を使用したり拍手を交えたりして、参加者が楽しく元気に過ごせる場として年6回開催予定であったが、コロナ禍のため中止した。

自力整体

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター 会議室
参加者数	
内 容	高齢者等が、医療や介護を必要とせずできるだけ長く健康で生活していくために、「秋田美智子」氏を講師として、自分のペースにより自分の体重を活かして、自分の体を整体することにより健康増進を図る事業として、参加料を無料として年5回開催予定であったが、コロナ禍のため中止した。

コミュニティカフェ・憩え場

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター 研修室
参加者数	
内 容	高齢者支援グループ「長いすの会」の協力を得て、高齢者の交流が希薄になりつつある社会の課題に対応するため、ギター演奏の元で合唱を楽しみ、気軽に茶菓を共にして語り合える機会であるが、コロナ禍のため中止した。

介護予防講座

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター会議室
参加者数	
内 容	志津南部包括支援センターの協力を得て、運動療法士の指導により高齢者が自分の健康について意識し、日常生活で行うことができる能力トレーニングを習得する事業として予定していたが、コロナ禍のため中止した。

生活安全セミナー

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター 会議室
参加者数	
内 容	高齢者に起こりうる交通事故や消費生活などのトラブルを未然に防止するための講座を開催する予定であったが、コロナ禍のため中止した。

(エ) 子育て支援事業

親子で楽しむ「モノづくり体験」教室

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター 会議室
参加者数	
内 容	佐倉市シルバー人材センターの協力を得て、児童等とその親を対象としてモノづくり体験教室を実施し、児童幼児の健全育成及びその親世代の交流の場として開催予定であったが、コロナ禍のため中止した。

子どものまち・ちびさくら

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター 会議室
参加者数	
内 容	NPO 法人「子どものまち」の協力を得て、幼児と親を対象として、幼児が買物をできるまちを設定し、買う側と売る側に分かれて楽しむことにより、子育て支援の推進に取り組む事業を開催する予定であったが、コロナ禍のため中止した。

(オ) ボランティアセンター運営事業

夏休みボランティア入門講座「みんなで手話を学ぼう」

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター 会議室
参加者数	
内 容	小学生とその親を対象に、「佐倉市ろう者協会」と「手話サークル希望」の協力を得て、ボランティア活動に必要な基礎的知識を理解し、聴覚障がい者に必要な手話を学び、ボランティア活動へ参加するきっかけづくりの場として開催する予定であったが、コロナ禍のため中止した。

ボランティア相談件数

内容	件数
活動相談	24 件
支援相談	8 件
情報提供	9 件

(カ) その他事業

定期利用団体との懇談会

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター 会議室
参加者数	
内 容	地域福祉センターの管理運営に関しては、運営委員会又は審議会等が設置されていないことから、利用者の意見や要望を聴く機会を設けるため、定期的に会議室等を利用している団体の代表者との懇談会を開催する予定であったが、コロナ禍のため中止した。

生活支援案内業務

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター 談話コーナー
支援者数	
内 容	行政機関や社会福祉協議会が実施している相談業務について、どの相談を利用すればよいのか判断できない方のために、佐倉市シルバー人材センターの協力を得て、各種の相談に向けた案内業務を実施する予定であったが、コロナ禍のため中止した。

3 収益事業

(1)手数料の収入

(ア)自動販売機の設置

設置台数	11台
金 額	1, 341, 256円

設 置 場 所	設 置 台 数	設 置 場 所	設 置 台 数
西部保健福祉センター	1	佐倉市民体育館	2
レインボープラザ佐倉	1	根郷公民館	1
社会福祉センター	6		

過去3カ年の比較

年 度	設 置 台 数	金 額
令和3年度	11台	1, 341, 256円
令和2年度	15台	1, 488, 062円
令和元年度	15台	2, 022, 710円

(イ)広告掲載料

社協さくら広告掲載料により、社会福祉事業の資金造成を行った。社協さくら・ホームページ広告掲載については、本会の法人会員へ勧誘を行った。	
売上金等種類	社協さくらへの広告掲載料
金 額	345, 000円

過去3カ年の比較

年 度	金 額
令和3年度	345, 000円
令和2年度	300, 000円
令和元年度	390, 000円

【理 事】

会 長	長谷川 大美				
副会長	兼坂 誠				
副会長	小林 眞智子				
理 事	稲阪 稔	宇田川 光三	内田 節子	寺田 純子	
業務執行理事	深沢 孝志				

【監 事】

西原 弘明	守友 英徳
-------	-------

【顧 問】

山下 興一郎

【評 議 員】

池 克志	伊藤 澄子	稲村 多恵子	内川 浩明	上出 和子
小長井 博子	塚田 雅二	土屋 志郎	湯川 芳朗	

令和4年3月31日現在

監査報告書

令和4年5月13日

社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会
会 長 長 谷 川 大 美 様

監 事 西原弘明 

監 事 守友英徳 

私たちは、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの、令和3年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事として、理事及び職員等との意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

① 事業報告等の監査結果

- (1) 事業報告及び附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

② 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

